

学校コード F123310106648

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

南山大学

理工学部

電子情報工学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人南山学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	南山学園総務課
職名・氏名	カチヨウ テラモト マサシ 課長 寺本 将史
電話番号	052-832-3112
（夜間）	052-832-3111
e-mail	n-somu@nanzan-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理工学部

＜電子情報工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	69
7. その他全般的事項	71
＜別添資料＞	
南山大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程	76
南山大学スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会規程	78

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人南山学園

(2) 大学名

南山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒466-8673
愛知県名古屋市昭和区山里町18

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イチセ ヒデアキ) 市瀬 英昭 (平成29年4月1日)		
学長	(ロバート・キサラ) Robert KISALA (令和2年4月1日)		
学部長	(ササキ カツミ) 佐々木 克巳 (令和3年4月1日)	(オオイシ ヤスアキ) 大石 泰章 (令和5年4月1日) (サワダ アツシ) 沢田 篤史 (令和4年2月20日)	執行部体制の変更のため令和5年4月1日付で変更(5) 健康上の理由により令和4年2月20日付で変更(4)
学科長等	(イシハラ ヤスノリ) 石原 靖哲 (令和3年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工学部 電子情報工学科 学士(理工学)	理学関係 工学関係	4 年	65 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	260 人	-	基礎となる学部等：理工学部機械電子制御工学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	65	人	65	人	65	人	0.97倍	-	0.98倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	946	(-)	986	(-)	746	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	932	(-)	973	(-)	737	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	384	(-)	419	(-)	390	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	69	(-)	60	(-)	62	(-)					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.06	-	0.92	-	0.95	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次							69 [1] (-)	- [-] (-)	60 [0] (-)	- [-] (-)	62 [-] (-)	- [-] (-)	・令和5年度2年次に編入学者1名を含む。
2年次									69 [1] (-)	- [-] (-)	61 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次											69 [1] (-)	- [-] (-)	
4年次											- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	69 [1] (-)	- [-] (-)	129 [1] (-)	- [-] (-)	192 [1] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	69 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	129 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	192 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{129} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{192} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学部 電子情報工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	宗教科目	宗教論	1	③	2							2	
		キリスト教概論	2	①	2							2	
		小計(2科目)	—		4	0	0	0	0	0	0	4	
	体育科目	基礎体育A	1	①	1							6	
		基礎体育B	1	④	1							6	
		小計(2科目)	—		2	0	0	0	0	0	0	6	
	情報科目	情報倫理	1	②	2			1				2	
		小計(1科目)	—		2	0	0	1	0	0	0	2	
	選択必修科目	「人間の尊厳」科目	宗教に見る人間の尊厳	2・3・4	①・②	2							2
			哲学・倫理学における人間の尊厳	2・3・4	①・③	2							2
			思想史に学ぶ人間の尊厳	2・3・4	③・④	2							2
			政治・経済と人間の尊厳	2・3・4	①・④	2							3
			法と人間の尊厳	2・3・4	①・②	2							4
			性と生命における人間の尊厳	2・3・4	①・③	2							2
			教育・文化における人間の尊厳	2・3・4	①・③	2							4
民族問題と人間の尊厳			2・3・4	①・②	2							3	
小計(8科目)		—		0	16	0	0	0	0	0	0	21	
基盤科目		哲学A	1・2・3・4	②	2							1	
	哲学B	1・2・3・4	③	2							2		
	文学A	1・2・3・4	④	2							1		
	文学B	1・2・3・4	③	2							1		
	美術A	1・2・3・4	③	2							1		
	美術B	1・2・3・4	④	2							1		
	倫理学	1・2・3・4	①・③	2							1		
	考古学A	1・2・3・4	①・③	2							1		
	考古学B	1・2・3・4	②	2							1		
	日本史B	1・2・3・4	①	2							1		
	世界史	1・2・3・4	④	2							1		
	文化人類学A	1・2・3・4	①	2							1		
	法学A	1・2・3・4	①	2							1		
	法学B	1・2・3・4	①	2							1		
	日本国憲法	1・2・3・4	①・③	2							2		
	政治学A	1・2・3・4	③	2							1		
	政治学B	1・2・3・4	①	2							2		
	社会学B	1・2・3・4	①	2							2		
	経済学A	1・2・3・4	①・④	2							3		
	経済学B	1・2・3・4	②・④	2							2		
	スポーツ科学論	1・2・3・4	①	2							2		
	健康科学論	1・2・3・4	④	2							1		
	スポーツ科学演習A	1・2・3・4	②	2							1		
	スポーツ科学演習B	1・2・3・4	④	2							1		
	数学A	1・2・3・4	①	2							1		
	数学B	1・2・3・4	③	2							1		
	心理学A	1・2・3・4	①・④	2							2		
	心理学B	1・2・3・4	②	2							1		
	科学技術論A	1・2・3・4	①	2							1		
小計(29科目)	—		0	58	0	0	0	0	0	0	32		
共通教育科目	宗教科目	宗教論	1	③	2							2	
		キリスト教概論	2	①	2							2	
		小計(2科目)	—		4	0	0	0	0	0	0	4	
	体育科目	基礎体育A	1	①	1							12	
		基礎体育B	1	④	1							13	
		小計(2科目)	—		2	0	0	0	0	0	0	13	
	情報科目	情報倫理	1	②	2			1				2	
		小計(1科目)	—		2	0	0	1	0	0	0	2	
	選択必修科目	「人間の尊厳」科目	宗教に見る人間の尊厳	2・3・4	①・②	2							5
			哲学・倫理学における人間の尊厳	2・3・4	①・③	2							4
			思想史に学ぶ人間の尊厳	2・3・4	③・④	2							5
			政治・経済と人間の尊厳	2・3・4	①・④	2							3
			法と人間の尊厳	2・3・4	①・②	2							3
			性と生命における人間の尊厳	2・3・4	①・③	2							4
			教育・文化における人間の尊厳	2・3・4	②・③	2							2
民族問題と人間の尊厳			2・3・4	①・②	2							4	
小計(8科目)	—		0	16	0	0	0	0	0	0	30		
基盤科目	哲学A	1・2・3・4	①・②	2							2		
	哲学B	1・2・3・4	③	2							3		
	文学A	1・2・3・4	④	2							2		
	文学B	1・2・3・4	④	2							1		
	美術A	1・2・3・4	②・④	2							2		
	美術B	1・2・3・4	②	2							2		
	倫理学	1・2・3・4	①	2							2		
	考古学A	1・2・3・4	①	2							1		
	考古学B	1・2・3・4	③	2							1		
	日本史B	1・2・3・4	①・③	2							2		
	世界史	1・2・3・4	③	2							1		
	文化人類学A	1・2・3・4	①	2							1		
	法学A	1・2・3・4	①	2							2		
	法学B	1・2・3・4	④	2							1		
	日本国憲法	1・2・3・4	②・③	2							3		
	政治学A	1・2・3・4	①・②	2							3		
	政治学B	1・2・3・4	③・④	2							3		
	社会学B	1・2・3・4	①	2							3		
	経済学A	1・2・3・4	①・④	2							4		
	経済学B	1・2・3・4	②・④	2							4		
	スポーツ科学論	1・2・3・4	③	2							1		
	健康科学論	1・2・3・4	②	2							1		
	スポーツ科学演習A	1・2・3・4	②	2							1		
	スポーツ科学演習B	1・2・3・4	④	2							1		
	数学A	1・2・3・4	①	2							1		
	数学B	1・2・3・4	③	2							1		
	心理学A	1・2・3・4	①・④	2							4		
	心理学B	1・2・3・4	③	2							3		
	科学技術論A	1・2・3・4	②	2							1		
小計(29科目)	—		0	58	0	0	0	0	0	0	46		

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	その他	教授	准教授	講師	助教			
共通教育科目	学際科目	文化の比較	1-2-3-4	①	2							1	
		異文化との接触	1-2-3-4	①・③	2							1	
		生命と倫理問題	1-2-3-4	④	2							2	
		文学をめぐって	1-2-3-4	④	2							2	
		思想・文化をめぐって	1-2-3-4	③	2							2	
		日本との出会い	1-2-3-4	③・④	2							3	
		アジアとの出会い	1-2-3-4	②・③	2							2	
		イスラムとの出会い	1-2-3-4	①・③	2							1	
		ヨーロッパとの出会い	1-2-3-4	①・②・④	2							3	
		歴史の諸相	1-2-3-4	④	2							1	
		異文化の理解	1-2-3-4	①・③・④	2							2	
		プライバシーと倫理	1-2-3-4	④	2							1	
		社会の諸相	1-2-3-4	③・④	2							4	
		人権をめぐって	1-2-3-4	②・④	2							1	
		政治・経済の諸相	1-2-3-4	②・③・④	2							7	
		環境と倫理問題	1-2-3-4	①	2							1	
		人間と環境	1-2-3-4	②・③	2							2	
		社会システムと環境	1-2-3-4	①・②・③・④	2							3	
		ことばとは	1-2-3-4	③・④	2							2	
		ことばとは	1-2-3-4	①・②・③・④	2							5	
		知識の探求	1-2-3-4	③・④	2							2	
		人間と機械	1-2-3-4	④	2							1	
		文化と情報	1-2-3-4	④	2							3	
		情報社会の構造	1-2-3-4	③	2			1				1	
		情報を読む	1-2-3-4	①・②	2							4	
		科学の諸相	1-2-3-4	①・④	2							2	
小計(26科目)			—		0	52	0	0	1	0	0	0	53
選択科目	目 実践知形成科目	キャリア教育科目	インターンシップ研修Ⅰ	2-3-4	②・④	1						1	
		インターンシップ研修Ⅱ	2-3-4	①・③	1							1	
		小計(2科目)	—		0	2	0	0	0	0	0	0	1
	スポーツ科目	スポーツ実技(個人スポーツ)	2-3-4	①・②・③	1							2	
		スポーツ実技(アウトドアスポーツ)	2-3-4	④	1							2	
		スポーツ実技(集団スポーツ)	2-3-4	①・③	1							2	
		スポーツ実技(健康スポーツ)	2-3-4	②・③・④	1							2	
		スポーツ実技(生涯スポーツ)	2-3-4	①・②	1							2	
		スポーツ実技(フィットネス)	2-3-4	①・③・④	1							2	
	小計(6科目)			—		0	6	0	0	0	0	0	6
外国語科目	必修外国語科目	英語Iコミュニケーションスキルズ	1	①	1							14	
		英語IIコミュニケーションスキルズ	1	②	1							14	
		英語IIIコミュニケーションスキルズ	1	③	1							14	
		英語IVコミュニケーションスキルズ	1	④	1							14	
		英語Vコミュニケーションスキルズ	2	①	1							11	
		英語VIコミュニケーションスキルズ	2	②	1							11	
		英語VIIコミュニケーションスキルズ	2	③	1							11	
		英語VIIIコミュニケーションスキルズ	2	④	1							11	
	小計(8科目)			—		8	0	0	0	0	0	0	20
	選択必修外国語科目	英語Iライティング	1-2-3-4	①・②・③・④	1							5	
		英語IIライティング	1-2-3-4	②・④	1							4	
		英語Iリーディング	1-2-3-4	①・③	1							4	
		英語IIリーディング	1-2-3-4	②・④	1							4	
		英語Iリスニング	1-2-3-4	①・②・③・④	1							7	
		英語IIリスニング	1-2-3-4	②・④	1							7	
		フランス語I	2-3-4	①	1							1	
フランス語II		2-3-4	②	1							1		
スペイン語I	2-3-4	①	1							2			
スペイン語II	2-3-4	②	1							2			
中国語I	2-3-4	①	1							1			
中国語II	2-3-4	②	1							1			
韓国朝鮮語I	2-3-4	①	1							1			
韓国朝鮮語II	2-3-4	②	1							1			
インドネシア語I	2-3-4	①	1							2			
インドネシア語II	2-3-4	②	1							2			
小計(16科目)			—		0	16	0	0	0	0	0	21	
共通教育科目	学際科目	文化の比較	1-2-3-4	②・③・④	2							3	
		異文化との接触	1-2-3-4	①・②・④	2							5	
		生命と倫理問題	1-2-3-4	②・④	2							2	
		文学をめぐって	1-2-3-4	①	2							1	
		思想・文化をめぐって	1-2-3-4	③	2							2	
		日本との出会い	1-2-3-4	①・②・③	2							4	
		アジアとの出会い	1-2-3-4	②・③	2							3	
		イスラムとの出会い	1-2-3-4	②・③	2							1	
		ヨーロッパとの出会い	1-2-3-4	②・③・④	2							4	
		歴史の諸相	1-2-3-4	④	2							4	
		異文化の理解	1-2-3-4	②・③・④	2							3	
		プライバシーと倫理	1-2-3-4	④	2							1	
		社会の諸相	1-2-3-4	③・④	2							6	
		人権をめぐって	1-2-3-4	②・④	2							2	
		政治・経済の諸相	1-2-3-4	②・③・④	2							10	
		環境と倫理問題	1-2-3-4	③・④	2							2	
		人間と環境	1-2-3-4	①・④	2							3	
		社会システムと環境	1-2-3-4	①・②・③・④	2							3	
		ことばとは	1-2-3-4	②	2							2	
		ことばとは	1-2-3-4	②・③・④	2							4	
		知識の探求	1-2-3-4	③・④	2							3	
		人間と機械	1-2-3-4	④	2							3	
		文化と情報	1-2-3-4	④	2							3	
		情報社会の構造	1-2-3-4	③	2			1				1	
		情報を読む	1-2-3-4	①・②	2							5	
		科学の諸相	1-2-3-4	①・②	2							3	
小計(26科目)			—		0	52	0	1	0	0	0	0	74
選択科目	目 実践知形成科目	キャリア教育科目	インターンシップ研修Ⅰ	2-3-4	②・④	1						1	
		インターンシップ研修Ⅱ	2-3-4	①・③	1							1	
		小計(2科目)	—		0	2	0	0	0	0	0	0	1
	スポーツ科目	スポーツ実技(個人スポーツ)	2-3-4	③・④	1							2	
		スポーツ実技(アウトドアスポーツ)	2-3-4	④	1							2	
		スポーツ実技(集団スポーツ)	2-3-4	①	1							2	
		スポーツ実技(健康スポーツ)	2-3-4	③・④	1							2	
		スポーツ実技(生涯スポーツ)	2-3-4	③・④	1							1	
		スポーツ実技(フィットネス)	2-3-4	①・④	1							2	
	小計(6科目)			—		0	6	0	0	0	0	0	7
外国語科目	必修外国語科目	英語Iコミュニケーションスキルズ	1	①	1							16	
		英語IIコミュニケーションスキルズ	1	②	1							16	
		英語IIIコミュニケーションスキルズ	1	③	1							16	
		英語IVコミュニケーションスキルズ	1	④	1							16	
		英語Vコミュニケーションスキルズ	2	①	1							15	
		英語VIコミュニケーションスキルズ	2	②	1							15	
		英語VIIコミュニケーションスキルズ	2	③	1							15	
		英語VIIIコミュニケーションスキルズ	2	④	1							15	
	小計(8科目)			—		8	0	0	0	0	0	0	30
	選択必修外国語科目	英語Iライティング	1-2-3-4	①・②・③・④	1							4	
		英語IIライティング	1-2-3-4	②・④	1							4	
		英語Iリーディング	1-2-3-4	①・③	1							6	
		英語IIリーディング	1-2-3-4	②・④	1							6	
		英語Iリスニング	1-2-3-4	①・②・③・④	1							7	
		英語IIリスニング	1-2-3-4	②・④	1							5	
		フランス語I	2-3-4	①	1							1	
フランス語II		2-3-4	②	1							1		
スペイン語I	2-3-4	①	1							2			
スペイン語II	2-3-4	②	1							2			
中国語I	2-3-4	①	1							1			
中国語II	2-3-4	②	1							1			
韓国朝鮮語I	2-3-4	①	1							1			
韓国朝鮮語II	2-3-4	②	1							1			
インドネシア語I	2-3-4	①	1							2			
インドネシア語II	2-3-4	②	1							2			
小計(16科目)			—		0	16	0	0	0	0	0	33	

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	英語展開科目 英語ワークショップA 英語ワークショップB 英語ワークショップC 英語ワークショップD 英語I翻訳 英語II翻訳 英語I通訳 英語II通訳 実践英語IA 実践英語IB 実践英語IC 実践英語IIA 実践英語IIB 実践英語IIC 英語Iプレゼンテーション 英語IIプレゼンテーション 英語イマージョンA 英語イマージョンB	2・3・4 ①・②	1								1
		2・3・4 ③・④	1								1
		2・3・4 ③・④	1								1
		2・3・4 ①・②	1								1
		2・3・4 ①・③	1								1
		2・3・4 ②・④	1								1
		2・3・4 ①・③	1								1
		2・3・4 ②・④	1								1
		2・3・4 ①・③	1								1
		2・3・4 ①・③	1								1
		2・3・4 ①・③	1								1
		2・3・4 ②・④	1								1
		2・3・4 ②・④	1								1
		2・3・4 ②・④	1								1
		2・3・4 ①	1								1
		2・3・4 ②	1								1
		2・3・4 ②	2								1
		2・3・4 ②	2								1
	小計(18科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
	うち実践海外知形成研修科目	短期留学プログラム(春季)A	1・2・3 ④	2							1
短期留学プログラム(夏季)A		1・2・3 ②	2							1	
短期留学プログラム(夏季)B		1・2・3 ②	2							1	
小計(3科目)		—	0	6	0	0	0	0	0	1	
学部共通科目	必修科目 理工学基礎演習 理工学概論(電子情報工学) 論理と集合 プログラミング基礎 プログラミング応用 物理学基礎 統計学概論 通信ネットワーク基礎	1 ①	2			3					1
		1 ①	2		5	4					
		1 ②	2		1						
		1 ③	4		1						
		1 ④	4								1
		2 ①	2								1
		2 ②	2								1
		2 ②	2		1						1
	小計(8科目)	—	20	0	0	5	4	0	0	0	4
	科選目 理工学海外研修	1・2・3 ②・④	2								1
小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1	
学科学科目	数学科目 微積分I 微積分II 線形代数I 線形代数II 微積分III 線形代数III	1 ①	2		1						1
		1 ②	2								2
		1 ③	2		1						
		1 ④	2		1						1
		2 ①	2								1
		2 ①	2								1
	小計(6科目)	—	12	0	0	3	0	0	0	0	6
	必修科目 電子工学基礎 ネットワークプログラミング 情報通信システム 通信理論 電子情報工学実習 情報セキュリティI 電子情報工学演習I 電子情報工学演習III 電子情報工学演習IV 電子情報工学演習V 電子情報工学演習VI 電子情報工学演習VII 電子情報工学演習VIII	2 ③	2			1					
		2 ③	2		1	2					
		2 ③	2		1						1
		2 ④	2		1						1
		2 ④	1			1					1
		3 ①	2		1	1					1
3 ①		1		5	4					1	
3 ③	1		5	4					1		
3 ④	1		5	4					1		
4 ①	1		5	4					1		
4 ②	1		5	4					1		
4 ③	1		5	4					1		
4 ④	1		5	4					1		
小計(13科目)	—	18	0	0	5	4	0	0	0	0	
共通教育科目	英語展開科目 英語ワークショップA 英語ワークショップB 英語ワークショップC 英語ワークショップD 英語I翻訳 英語II翻訳 英語I通訳 英語II通訳 実践英語IA 実践英語IB 実践英語IC 実践英語IIA 実践英語IIB 実践英語IIC 英語Iプレゼンテーション 英語IIプレゼンテーション 英語イマージョンA 英語イマージョンB	2・3・4 ①・②	1								1
		2・3・4 ①・②	1								1
		2・3・4 ③・④	1								1
		2・3・4 ③・④	1								1
		2・3・4 ①	1								1
		2・3・4 ②	1								1
		2・3・4 ①	1								1
		2・3・4 ②	1								1
		2・3・4 ①	1								1
		2・3・4 ②	1								1
		2・3・4 ①・③	1								4
		2・3・4 ①	1								1
		2・3・4 ①・③	1								1
		2・3・4 ②・④	1								4
		2・3・4 ②	1								1
		2・3・4 ②・④	1								1
		2・3・4 ①	1								1
		2・3・4 ②	1								1
	2・3・4 ②	2								1	
	2・3・4 ②	2								1	
小計(18科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	26	
うち実践海外知形成研修科目	短期留学プログラム(春季)A	1・2・3 ④	2							0	
	短期留学プログラム(夏季)A	1・2・3 ②	2							1	
	短期留学プログラム(夏季)B(未開講)	1・2・3 ②	2							1	
	小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	1	
学部共通科目	必修科目 理工学基礎演習 理工学概論(電子情報工学) 論理と集合 プログラミング基礎 プログラミング応用 物理学基礎 統計学概論 通信ネットワーク基礎	1 ①	2			1	1	1			2
		1 ①	2		6	2	1				
		1 ②	2		1						
		1 ③	4		1						
		1 ④	4								1
		2 ①	2								1
		2 ②	2								1
		2 ②	2		1						1
	小計(8科目)	—	20	0	0	6	2	1	0	0	4
	科選目 理工学海外研修	1・2・3 ④	2								1
小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1	
学科学科目	数学科目 微積分I 微積分II 線形代数I 線形代数II 微積分III 線形代数III	1 ①	2		1						1
		1 ②	2								2
		1 ③	2		1						
		1 ④	2		1						1
		2 ①	2								1
		2 ①	2								1
	小計(6科目)	—	12	0	0	3	0	0	0	0	6
	必修科目 電子工学基礎 ネットワークプログラミング 情報通信システム 通信理論 電子情報工学実習 情報セキュリティI 電子情報工学演習I 電子情報工学演習III 電子情報工学演習IV 電子情報工学演習V 電子情報工学演習VI 電子情報工学演習VII 電子情報工学演習VIII	2 ③	2								1
		2 ③	2		1	2					
		2 ③	2		1						1
		2 ④	2		1						1
		2 ④	1			1					1
		3 ①	2		1	1					1
3 ①		1		6	2	1				1	
3 ③	1		6	2	1				1		
3 ④	1		6	2	1				1		
4 ①	1		6	2	1				1		
4 ②	1		6	2	1				1		
4 ③	1		6	2	1				1		
4 ④	1		6	2	1				1		
小計(13科目)	—	18	0	0	6	2	1	0	0	0	

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	卒業研究	卒業研究I	4	①	2		5	4				
		卒業研究II	4	②	2		5	4				
		卒業研究III	4	③	2		5	4				
		卒業研究IV	4	④	2		5	4				
		小計(4科目)	—		8	0	0	5	4	0	0	0
	選択科目	ワイヤレスシステム工学	3	①	2			1				
		電子通信工学	3	①	2			1				
		マルチメディア情報処理	3	②	2		1					
		データベース	3	②	2		1					
		電子情報工学演習II	3	②	1		5	4				
幾何とベクトル		3	②	2			1				1	
クラウド基盤と仮想化技術		3	③	2			1					
情報セキュリティII		3	④	2		1	1					
小計(8科目)	—		0	15	0	5	4	0	0	0	1	
ソフトウェア工学副専攻科目	必修科目	アルゴリズムとデータ構造	2	②	2							1
		システムプログラミング	2	③	2							2
		ソフトウェア工学基礎	2	③	2							1
		ソフトウェア開発技術I	3	①	2							1
		PBL実践演習(ソフトウェア工学)	3	②	2							2
	小計(5科目)	—		0	10	0	0	0	0	0	0	6
	選択必修科目	計算機アーキテクチャとOS	2	③	2							1
		プログラミング言語	3	①	2							1
		情報モデリング	3	②	2							1
		ソフトウェア開発技術II	3	③	2							2
小計(4科目)		—		0	8	0	0	0	0	0	0	5
データサイエンス副専攻科目	必修科目	数理技術プログラミング	2	③	2							3
		OR概論	2	③	2							1
		ビッグデータ概論	2	③	2							1
		機械学習の数理	2	④	2							1
		PBL実践演習(データサイエンス)	3	②	2							3
	小計(5科目)	—		0	10	0	0	0	0	0	0	4
	選択必修科目	数理最適化	2	④	2							1
		幾何学概論	3	①	2							1
		多変量解析	3	②	2							1
		統計データ解析法	3	②	2							1
小計(4科目)		—		0	8	0	0	0	0	0	0	4
機械システム工学副専攻科目	必修科目	機械制御プログラミング	2	③	2							3
		制御工学基礎	2	③	2							1
		制御理論I	2	④	2							1
		機械工学基礎	2	④	2							1
		PBL実践演習(機械システム工学)	3	②	2							3
	小計(5科目)	—		0	10	0	0	0	0	0	0	7
	選択必修科目	計測工学	2	④	2							1
		制御理論II	3	①	2							1
		機械・材料力学	3	②	2							1
		HW/SW協調設計	3	②	2							1
小計(4科目)		—		0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計(188科目)	—		74	247	0	5	4	0	0	0	162	

卒業要件及び履修方法

共通教育科目を30単位以上、学部共通科目の必修科目を20単位、学科科目を65単位以上、自由選択科目10単位以上、合計125単位以上を卒業に必要な単位として修得しなければならない。ただし、学科科目については、数学科目を12単位、必修科目を18単位、卒業研究科目を8単位修得し、ソフトウェア工学副専攻科目、データサイエンス副専攻科目、機械システム工学副専攻科目のうち選択したいずれか一つについて、その必修科目を10単位、選択必修科目を4単位以上修得しなければならない。(履修選択の登録の上限:各クォータの登録単位数は16単位まで(4年次の各クォータは12単位まで)とする。ただし、各年次において、第1クォータと第2クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第3クォータと第4クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第1クォータから第4クォータまでの登録単位数の合計は44単位までとする。)なお、自由選択科目に算入されるのは、共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目、学部共通科目の選択科目として修得した科目、学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目、履修可能な他学部・他学科科目、本学の単位認定制度により自由選択科目として認められたもの。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	卒業研究	卒業研究I	4	①	2		6	2	1			
		卒業研究II	4	②	2		6	2	1			
		卒業研究III	4	③	2		6	2	1			
		卒業研究IV	4	④	2		6	2	1			
		小計(4科目)	—		8	0	0	6	2	1	0	0
	選択科目	ワイヤレスシステム工学	3	①	2		1					
		電子通信工学	3	①	2					1		
		マルチメディア情報処理	3	②	2		1					
		データベース	3	②	2		1					
		電子情報工学演習II	3	②	1		6	2	1			
幾何とベクトル		3	②	2		1					1	
クラウド基盤と仮想化技術		3	③	2				1				
情報セキュリティII		3	④	2		1	1					
小計(8科目)	—		0	15	0	6	2	1	0	0	1	
ソフトウェア工学副専攻科目	必修科目	アルゴリズムとデータ構造	2	②	2							1
		システムプログラミング	2	③	2							2
		ソフトウェア工学基礎	2	③	2							1
		ソフトウェア開発技術I	3	①	2							1
		PBL実践演習(ソフトウェア工学)	3	②	2							2
	小計(5科目)	—		0	10	0	0	0	0	0	0	6
	選択必修科目	計算機アーキテクチャとOS	2	③	2							1
		プログラミング言語	3	①	2							1
		情報モデリング	3	②	2							1
		ソフトウェア開発技術II	3	③	2							2
小計(4科目)		—		0	8	0	0	0	0	0	0	5
データサイエンス副専攻科目	必修科目	数理技術プログラミング	2	③	2							3
		OR概論	2	③	2							1
		ビッグデータ概論	2	③	2							1
		機械学習の数理	2	④	2							1
		PBL実践演習(データサイエンス)	3	②	2							3
	小計(5科目)	—		0	10	0	0	0	0	0	0	4
	選択必修科目	数理最適化	2	④	2							1
		幾何学概論	3	①	2							1
		多変量解析	3	②	2							1
		統計データ解析法	3	②	2							1
小計(4科目)		—		0	8	0	0	0	0	0	0	4
機械システム工学副専攻科目	必修科目	機械制御プログラミング	2	③	2							3
		制御工学基礎	2	③	2							1
		制御理論I	2	④	2							1
		機械工学基礎	2	④	2							1
		PBL実践演習(機械システム工学)	3	②	2							3
	小計(5科目)	—		0	10	0	0	0	0	0	0	7
	選択必修科目	計測工学	2	④	2							1
		制御理論II	3	①	2							1
		機械・材料力学	3	②	2							1
		HW/SW協調設計	3	③	2							1
小計(4科目)		—		0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計(188科目)	—		74	247	0	6	2	1	0	0	213	

卒業要件及び履修方法

共通教育科目を30単位以上、学部共通科目の必修科目を20単位、学科科目を65単位以上、自由選択科目10単位以上、合計125単位以上を卒業に必要な単位として修得しなければならない。ただし、学科科目については、数学科目を12単位、必修科目を18単位、卒業研究科目を8単位修得し、ソフトウェア工学副専攻科目、データサイエンス副専攻科目、機械システム工学副専攻科目のうち選択したいずれか一つについて、その必修科目を10単位、選択必修科目を4単位以上修得しなければならない。(履修選択の登録の上限:各クォータの登録単位数は16単位まで(4年次の各クォータは12単位まで)とする。ただし、各年次において、第1クォータと第2クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第3クォータと第4クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第1クォータから第4クォータまでの登録単位数の合計は44単位までとする。)なお、自由選択科目に算入されるのは、共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目、学部共通科目の選択科目として修得した科目、学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目、履修可能な他学部・他学科科目、本学の単位認定制度により自由選択科目として認められたもの。

【令和3年度】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	必修科目 宗教科目	宗教論	1	③	2							2	
		キリスト教概論	2	①	2							2	
		小計(2科目)	—		4	0	0	0	0	0	0	4	
	体育科目	基礎体育A	1	①	1							13	
		基礎体育B	1	④	1							13	
		小計(2科目)	—		2	0	0	0	0	0	0	13	
	情報科目	情報倫理	1	②	2			1				2	
		小計(1科目)	—		2	0	0	0	1	0	0	2	
	選択必修科目	「人間の尊厳」科目	宗教に見る人間の尊厳	2・3・4	①・②	2							1
			哲学・倫理学における人間の尊厳	2・3・4	①・③	2							2
思想史に学ぶ人間の尊厳			2・3・4	③・④	2							1	
政治・経済と人間の尊厳			2・3・4	①・④	2							3	
法と人間の尊厳			2・3・4	①・②	2							4	
性と生命における人間の尊厳			2・3・4	①・③	2							2	
教育・文化における人間の尊厳			2・3・4	①・③	2							3	
民族問題と人間の尊厳			2・3・4	①・②	2							3	
小計(8科目)		—		0	16	0	0	0	0	0	0	21	
基礎科目		哲学A	1・2・3・4	②	2							2	
	哲学B	1・2・3・4	③	2							3		
	文学A	1・2・3・4	④	2							2		
	文学B	1・2・3・4	③	2							1		
	美術A	1・2・3・4	②	2							2		
	美術B	1・2・3・4	②	2							2		
	倫理学	1・2・3・4	①	2							2		
	考古学A	1・2・3・4	③	2							1		
	考古学B	1・2・3・4	③	2							1		
	日本史B	1・2・3・4	②	2							2		
	世界史	1・2・3・4	③	2							1		
	文化人類学A	1・2・3・4	①	2							1		
	法学A	1・2・3・4	①	2							2		
	法学B	1・2・3・4	①	2							1		
	日本国憲法	1・2・3・4	②・③	2							2		
	政治学A	1・2・3・4	③	2							4		
	政治学B	1・2・3・4	①	2							3		
	社会学B	1・2・3・4	①	2							4		
	経済学A	1・2・3・4	①・④	2							4		
	経済学B	1・2・3・4	②・④	2							4		
	スポーツ科学論	1・2・3・4	①	2							2		
	健康科学論	1・2・3・4	③	2							1		
	スポーツ科学演習A	1・2・3・4	②	2							1		
	スポーツ科学演習B	1・2・3・4	④	2							1		
	数学A	1・2・3・4	①	2							1		
	数学B	1・2・3・4	③	2							1		
	心理学A	1・2・3・4	①・④	2							4		
	心理学B	1・2・3・4	③	2							3		
	科学技術論A	1・2・3・4	①	2							1		
小計(29科目)	—		0	58	0	0	0	0	0	0	48		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	必修科目 宗教科目	宗教論	1	③	2							2	
		キリスト教概論	2	①	2							2	
		小計(2科目)	—		4	0	0	0	0	0	0	4	
	体育科目	基礎体育A	1	①	1							13	
		基礎体育B	1	④	1							13	
		小計(2科目)	—		2	0	0	0	0	0	0	13	
	情報科目	情報倫理	1	②	2			1				2	
		小計(1科目)	—		2	0	0	0	1	0	0	2	
	選択必修科目	「人間の尊厳」科目	宗教に見る人間の尊厳	2・3・4	①・②	2							6
			哲学・倫理学における人間の尊厳	2・3・4	①・③	2							5
思想史に学ぶ人間の尊厳			2・3・4	③・④	2							5	
政治・経済と人間の尊厳			2・3・4	①・④	2							4	
法と人間の尊厳			2・3・4	①・②	2							4	
性と生命における人間の尊厳			2・3・4	①・③	2							5	
教育・文化における人間の尊厳			2・3・4	②・③	2							3	
民族問題と人間の尊厳			2・3・4	①・②	2							4	
小計(8科目)		—		0	16	0	0	0	0	0	0	35	
基礎科目		哲学A	1・2・3・4	①・③	2							2	
	哲学B	1・2・3・4	③	2							3		
	文学A	1・2・3・4	④	2							2		
	文学B	1・2・3・4	③	2							1		
	美術A	1・2・3・4	③	2							2		
	美術B	1・2・3・4	④	2							2		
	倫理学	1・2・3・4	①・④	2							2		
	考古学A	1・2・3・4	①	2							1		
	考古学B	1・2・3・4	①	2							1		
	日本史B	1・2・3・4	①・③	2							2		
	世界史	1・2・3・4	③	2							1		
	文化人類学A	1・2・3・4	①	2							1		
	法学A	1・2・3・4	①	2							2		
	法学B	1・2・3・4	③	2							1		
	日本国憲法	1・2・3・4	②・③	2							3		
	政治学A	1・2・3・4	①・②	2							3		
	政治学B	1・2・3・4	①	2							3		
	社会学B	1・2・3・4	①	2							4		
	経済学A	1・2・3・4	①・④	2							4		
	経済学B	1・2・3・4	②・④	2							4		
	スポーツ科学論	1・2・3・4	①	2							2		
	健康科学論	1・2・3・4	③	2							1		
	スポーツ科学演習A	1・2・3・4	②	2							1		
	スポーツ科学演習B	1・2・3・4	④	2							1		
	数学A	1・2・3・4	①	2							1		
	数学B	1・2・3・4	③	2							1		
	心理学A	1・2・3・4	①・④	2							4		
	心理学B	1・2・3・4	③	2							3		
	科学技術論A	1・2・3・4	②	2							1		
小計(29科目)	—		0	58	0	0	0	0	0	0	48		

【令和3年度】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	英語ワークショップA 英語ワークショップB 英語ワークショップC 英語ワークショップD 英語 I 翻訳 英語 II 翻訳 英語 I 通訳 英語 II 通訳 実践英語 I A 実践英語 I B 実践英語 I C 実践英語 II A 実践英語 II B 実践英語 II C 英語 I プレゼンテーション 英語 II プレゼンテーション 英語イマージョンA 英語イマージョンB	2・3・4 ①・②	1								1		
		2・3・4 ③・④	1								0		
		2・3・4 ③・④	1								1		
		2・3・4 ①・②	1								1		
		2・3・4 ①・③	1								1		
		2・3・4 ②・④	1								1		
		2・3・4 ①・③	1								1		
		2・3・4 ②・④	1								1		
		2・3・4 ②	1								1		
		2・3・4 ①	1								0		
		2・3・4 ②	1								0		
		2・3・4 ②	2								0		
		2・3・4 ②	2								1		
		小計(18科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	8	
		うち実践 海外 外形 研修 科目 の 小計(3科目)	短期留学プログラム(春季)A	1・2・3 ④	2							2	
			短期留学プログラム(夏季)A	1・2・3 ②	2							1	
			短期留学プログラム(夏季)B(未開講)	1・2・3 ②	2							1	
		小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	2	
	学部共通科目	必修科目 理工学基礎演習 理工学概論(電子情報工学) 論理と集合 プログラミング基礎 プログラミング応用 物理学基礎 統計学概論 通信ネットワーク基礎	1 ①	2			1	2				1	
			1 ①	2			6	3					
1 ②			2			1							
1 ③			4			1							
1 ④			4								1		
2 ①			2								1		
2 ②			2								1		
2 ②			2			1							
小計(8科目)		—	20	0	0	6	3	0	0	0	4		
科選 目 目 理工学海外研修(未開講)		1・2・3 ②・④	2								1		
小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1			
学科科目	数学 科目 微積分学I 微積分学II 線形代数学I 線形代数学II 微積分学III 線形代数学III	1 ①	2			1					1		
		1 ②	2								2		
		1 ③	2			1							
		1 ④	2			1					1		
		2 ①	2								1		
		2 ①	2								1		
	小計(6科目)	—	12	0	0	3	0	0	0	0	6		
	必修 科目 電子工学基礎 ネットワークプログラミング 情報通信システム 通信理論 電子情報工学実習 情報セキュリティ 電子情報工学演習I 電子情報工学演習III 電子情報工学演習IV 電子情報工学演習V 電子情報工学演習VI 電子情報工学演習VII 電子情報工学演習VIII	2 ③	2			1							
		2 ③	2			1	2						
		2 ③	2			1							
		2 ④	2			1							
		2 ④	1			1					1		
		3 ①	2			1	1						
3 ①		1			6	3							
3 ③	1			6	3								
3 ④	1			6	3								
4 ①	1			6	3								
4 ②	1			6	3								
4 ③	1			6	3								
4 ④	1			6	3								
小計(13科目)	—	18	0	0	6	3	0	0	0	0			
共通教育科目	英語ワークショップA 英語ワークショップB 英語ワークショップC 英語ワークショップD 英語 I 翻訳 英語 II 翻訳 英語 I 通訳 英語 II 通訳 実践英語 I A 実践英語 I B 実践英語 I C 実践英語 II A 実践英語 II B 実践英語 II C 英語 I プレゼンテーション 英語 II プレゼンテーション 英語イマージョンA 英語イマージョンB	2・3・4 ①・②	1								1		
		2・3・4 ①・②	1								1		
		2・3・4 ③・④	1								1		
		2・3・4 ③・④	1								1		
		2・3・4 ①	1								2		
		2・3・4 ②	1								2		
		2・3・4 ①	1								1		
		2・3・4 ②	1								1		
		2・3・4 ②	1								1		
		2・3・4 ①	1								1		
		2・3・4 ②	1								1		
		2・3・4 ②	2								1		
		2・3・4 ②	2								1		
		小計(18科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	12	
		うち実践 海外 外形 研修 科目 の 小計(3科目)	短期留学プログラム(春季)A	1・2・3 ④	2								2
			短期留学プログラム(夏季)A	1・2・3 ②	2								1
			短期留学プログラム(夏季)B(未開講)	1・2・3 ②	2								1
		小計(3科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	2	
	学部共通科目	必修科目 理工学基礎演習 理工学概論(電子情報工学) 論理と集合 プログラミング基礎 プログラミング応用 物理学基礎 統計学概論 通信ネットワーク基礎	1 ①	2			1	1				2	
			1 ①	2			6	2				1	
1 ②			2			1							
1 ③			4			1							
1 ④			4								1		
2 ①			2								1		
2 ②			2								1		
2 ②			2			1							
小計(8科目)		—	20	0	0	6	3	0	0	0	5		
科選 目 目 理工学海外研修		1・2・3 ④	2								1		
小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1			
学科科目	数学 科目 微積分学I 微積分学II 線形代数学I 線形代数学II 微積分学III 線形代数学III	1 ①	2			1					1		
		1 ②	2								2		
		1 ③	2			1							
		1 ④	2			1					1		
		2 ①	2								1		
		2 ①	2								1		
	小計(6科目)	—	12	0	0	3	0	0	0	0	6		
	必修 科目 電子工学基礎 ネットワークプログラミング 情報通信システム 通信理論 電子情報工学実習 情報セキュリティ 電子情報工学演習I 電子情報工学演習III 電子情報工学演習IV 電子情報工学演習V 電子情報工学演習VI 電子情報工学演習VII 電子情報工学演習VIII	2 ③	2			1							
		2 ③	2			1	2						
		2 ③	2			1							
		2 ④	2			1							
		2 ④	1			1					1		
		3 ①	2			1	1						
3 ①		1			6	2	1						
3 ③	1			6	2	1							
3 ④	1			6	2	1							
4 ①	1			6	2	1							
4 ②	1			6	2	1							
4 ③	1			6	2	1							
4 ④	1			6	2	1							
小計(13科目)	—	18	0	0	6	2	1	0	0	0			

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科学科科目	卒業研究I	4 ①	2			6	3						
	卒業研究II	4 ②	2			6	3						
	卒業研究III	4 ③	2			6	3						
	卒業研究IV	4 ④	2			6	3						
	小計(4科目)	—	8	0	0	6	3	0	0	0	0	0	
選択科目	ワイヤレスシステム工学	3 ①	2			1							
	電子通信工学	3 ①	2				1						
	マルチメディア情報処理	3 ②	2			1							
	データベース	3 ②	2			1							
	電子情報工学演習II	3 ②	1			6	3						
	幾何とベクトル	3 ②	2			1						1	
	クラウド基盤と仮想化技術	3 ③	2				1						
	情報セキュリティII	3 ④	2			1	1						
		小計(8科目)	—	0	15	0	6	3	0	0	0	0	1
	ソフトウェア工学副専攻科目	アルゴリズムとデータ構造	2 ②	2									1
システムプログラミング		2 ③	2									2	
ソフトウェア工学基礎		2 ③	2									1	
ソフトウェア開発技術I		3 ①	2									1	
PBL実践演習(ソフトウェア工学)		3 ②	2									2	
		小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	6
選択必修科目		計算機アーキテクチャとOS	2 ③	2									1
		プログラミング言語	3 ①	2									1
		情報モデリング	3 ②	2									1
		ソフトウェア開発技術II	3 ③	2									2
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	5
データサイエンス副専攻科目	数理技術プログラミング	2 ③	2									3	
	OR概論	2 ③	2									1	
	ビッグデータ概論	2 ③	2									1	
	機械学習の数理	2 ④	2									1	
	PBL実践演習(データサイエンス)	3 ②	2									3	
		小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	4
	選択必修科目	数理最適化	2 ④	2									1
		幾何学概論	3 ①	2									1
		多変量解析	3 ②	2									1
		統計データ解析法	3 ②	2									1
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4
機械システム工学副専攻科目	機械制御プログラミング	2 ③	2									3	
	制御工学基礎	2 ③	2									1	
	制御理論I	2 ④	2									1	
	機械工学基礎	2 ④	2									1	
	PBL実践演習(機械システム工学)	3 ②	2									3	
		小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7
	選択必修科目	計測工学	2 ④	2									1
		制御理論II	3 ①	2									1
		機械・材料力学	3 ②	2									1
		HW/SW協調設計	3 ②	2									1
	小計(4科目)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
合計(188科目)			—	74	247	0	6	3	0	0	0	209	

卒業要件及び履修方法

共通教育科目を30単位以上、学部共通科目の必修科目を20単位、学科学科科目を65単位以上、自由選択科目10単位以上、合計125単位以上を卒業に必要な単位として修得しなければならない。ただし、学科学科科目については、数学科目を12単位、必修科目を18単位、卒業研究科目を8単位修得し、ソフトウェア工学副専攻科目、データサイエンス副専攻科目、機械システム工学副専攻科目のうち選択したいずれか一つについて、その必修科目を10単位、選択必修科目を4単位以上修得しなければならない。(履修選択の登録の上限:各クォータの登録単位数は16単位まで(4年次の各クォータは12単位まで)とする。ただし、各年次において、第1クォータと第2クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第3クォータと第4クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第1クォータから第4クォータまでの登録単位数の合計は44単位までとする。)なお、自由選択科目に算入されるのは、共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目、学部共通科目の選択科目として修得した科目、学科学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目、履修可能な他学部・他学科学科科目、本学の単位認定制度により自由選択科目として認められたもの。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科学科科目	卒業研究I	4 ①	2			6	2	1					
	卒業研究II	4 ②	2			6	2	1					
	卒業研究III	4 ③	2			6	2	1					
	卒業研究IV	4 ④	2			6	2	1					
	小計(4科目)	—	8	0	0	6	2	1	0	0	0	0	
選択科目	ワイヤレスシステム工学	3 ①	2			1							
	電子通信工学	3 ①	2					1					
	マルチメディア情報処理	3 ②	2			1							
	データベース	3 ②	2			1							
	電子情報工学演習II	3 ②	1			6	2	1					
	幾何とベクトル	3 ②	2			1						1	
	クラウド基盤と仮想化技術	3 ③	2				1						
	情報セキュリティII	3 ④	2			1	1						
		小計(8科目)	—	0	15	0	6	2	1	0	0	0	1
	ソフトウェア工学副専攻科目	アルゴリズムとデータ構造	2 ②	2									1
システムプログラミング		2 ③	2									2	
ソフトウェア工学基礎		2 ③	2									1	
ソフトウェア開発技術I		3 ①	2									1	
PBL実践演習(ソフトウェア工学)		3 ②	2									2	
		小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	6
選択必修科目		計算機アーキテクチャとOS	2 ③	2									1
		プログラミング言語	3 ①	2									1
		情報モデリング	3 ②	2									1
		ソフトウェア開発技術II	3 ③	2									2
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	5
データサイエンス副専攻科目	数理技術プログラミング	2 ③	2									3	
	OR概論	2 ③	2									1	
	ビッグデータ概論	2 ③	2									1	
	機械学習の数理	2 ④	2									1	
	PBL実践演習(データサイエンス)	3 ②	2									3	
		小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	4
	選択必修科目	数理最適化	2 ④	2									1
		幾何学概論	3 ①	2									1
		多変量解析	3 ②	2									1
		統計データ解析法	3 ②	2									1
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	4
機械システム工学副専攻科目	機械制御プログラミング	2 ③	2									3	
	制御工学基礎	2 ③	2									1	
	制御理論I	2 ④	2									1	
	機械工学基礎	2 ④	2									1	
	PBL実践演習(機械システム工学)	3 ②	2									3	
		小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7
	選択必修科目	計測工学	2 ④	2									1
		制御理論II	3 ①	2									1
		機械・材料力学	3 ②	2									1
		HW/SW協調設計	3 ②	2									1
	小計(4科目)	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
合計(188科目)			—	74	247	0	6	2	1	0	0	222	

卒業要件及び履修方法

共通教育科目を30単位以上、学部共通科目の必修科目を20単位、学科学科科目を65単位以上、自由選択科目10単位以上、合計125単位以上を卒業に必要な単位として修得しなければならない。ただし、学科学科科目については、数学科目を12単位、必修科目を18単位、卒業研究科目を8単位修得し、ソフトウェア工学副専攻科目、データサイエンス副専攻科目、機械システム工学副専攻科目のうち選択したいずれか一つについて、その必修科目を10単位、選択必修科目を4単位以上修得しなければならない。(履修選択の登録の上限:各クォータの登録単位数は16単位まで(4年次の各クォータは12単位まで)とする。ただし、各年次において、第1クォータと第2クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第3クォータと第4クォータの登録単位数の合計は24単位まで、第1クォータから第4クォータまでの登録単位数の合計は44単位までとする。)なお、自由選択科目に算入されるのは、共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目、学部共通科目の選択科目として修得した科目、学科学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目、履修可能な他学部・他学科学科科目、本学の単位認定制度により自由選択科目として認められたもの。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**履修時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後に「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1)ー②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

＜共通教育科目に係る変更について＞

①内は兼任・兼任教員数の変化を表す。

- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「基礎体育A」「基礎体育B」の兼任・兼任教員数を「6」→「13」へ変更。
- ・兼任・兼任教員の退職に伴い、「宗教に見る人間の尊厳」(「2」→「1」)「思想史に学ぶ人間の尊厳」(「2」→「1」)の兼任・兼任教員数を変更。2年次以降の履修科目のため、令和3年度については教育上の影響なし。
- ・兼任・兼任教員の休職にともない、「教育・文化における人間の尊厳」(「4」→「3」)の兼任・兼任教員数を変更。2年次以降の履修科目のため、令和3年度については教育上の影響なし。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「哲学A」(「1」→「2」)「哲学B」(「2」→「3」)「文学A」(「1」→「2」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により、「美術A」の開講クォーターを③→②、兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ、「美術B」の開講クォーターを④→②、兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により、「倫理学」の開講クォーターを①・③→①、兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「考古学A」の開講クォーターを①・③→③へ、「考古学B」の開講クォーターを①→③へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増により、「日本史B」の兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「世界史」の開講クォーターを④→③へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増により、「法学A」の兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「日本国憲法」の開講クォーターを①・③→②・③へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増により、「政治学A」(「1」→「4」)「政治学B」(「2」→「3」)「社会学B」(「2」→「4」)「経済学A」(「3」→「4」)「経済学B」(「2」→「4」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・時間割編成の都合により、「健康科学論」の開講クォーターを④→③へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増により、「心理学A」の兼任・兼任教員数を「2」→「4」へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により、「心理学B」の開講クォーターを②→③、兼任・兼任教員数を「1」→「3」へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「文化の比較」(「1」→「4」)「異文化との接触」(「1」→「4」)「生命と倫理問題」(「2」→「3」)「思想・文化をめぐって」(「2」→「3」)「日本との出会い」(「3」→「5」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・時間割編成の都合により、「イスラムとの出会い」の開講クォーターを①・③→②・③へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により、「ヨーロッパとの出会い」の開講クォーターを①・②・④→②・③・④、兼任・兼任教員数を「3」→「5」へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「歴史の諸相」(「1」→「4」)「異文化の理解」(「2」→「4」)「社会の諸相」(「4」→「6」)「人権をめぐって」(「1」→「3」)「政治・経済の諸相」(「7」→「9」)「環境と倫理問題」(「1」→「2」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により、「人間と環境」の開講クォーターを②・③→①・④、兼任・兼任教員数を「2」→「3」へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「ことばとは」(「5」→「6」)「知識の探求」(「2」→「3」)「人間と機械」(「1」→「3」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「文化と情報」の兼任・兼任教員数を「3」→「4」へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増および専任教員の昇格により、「情報社会の構造」の教員数を「准教授1」→「教授1、准教授2、兼任・兼任3」へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増により「科学の諸相」(「2」→「3」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語 I ライティング」(「5」→「7」)「英語 I リーディング」(「4」→「6」)「英語 II リーディング」(「4」→「6」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語 II リスニング」の兼任・兼任教員数を「7」→「6」へ変更。担当教員数は減となるが、既に当該科目を担当している教員がクラス数を増やして対応するため教育上支障なし。
- ・兼任・兼任教員の退職に伴い、「フランス語I」「フランス語II」「英語ワークショップB」「英語 I プレゼンテーション」「英語 II プレゼンテーション」「英語イマージョンA」の兼任・兼任教員数を「1」→「0」へ変更。2年次以降の履修科目のため、令和3年度については教育上の影響なし。来年度の開設までに別の担当者を決め、学生の教育に支障をきたさないようにする。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「短期留学プログラム(春季)A」の兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ変更。

＜学部共通科目および学科科目に係る変更＞

専任の准教授1名が教授に昇格したことにより、当該教員が担当する以下の科目の「専任教員等の配置」を変更。

- ・「理工学基礎演習」(准教授3、兼任・兼任1→教授1、准教授2、兼任・兼任1)
- ・「理工学概論」(電子情報工学)(教授5、准教授4→教授6、准教授3)
- ・「電子情報工学演習I～VIII」(教授5、准教授4→教授6、准教授3)
- ・卒業研究I～IV(教授5、准教授4→教授6、准教授3)
- ・ワイヤレスシステム工学(准教授1→教授1)
- ・幾何とベクトル(准教授1、兼任・兼任1→教授1、兼任・兼任1)

【令和4年度】

<共通教育科目に係る変更について>

()内は兼任・兼任教員数の変化を表す。

【人間の尊厳】科目

- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「宗教に見る人間の尊厳」(「1」→「6」)・「哲学・倫理学における人間の尊厳」(「2」→「5」)・「思想史に学ぶ人間の尊厳」(「1」→「5」)・「政治・経済と人間の尊厳」(「3」→「4」)・「性と生命における人間の尊厳」(「2」→「5」)・「民族問題と人間の尊厳」(「3」→「4」)の兼任・兼任教員数を変更。
- ・時間割編成の都合により、「教育・文化における人間の尊厳」の開講クォーターを①・③→②・③へ変更。

【基礎科目】

- ・時間割編成の都合により、「哲学A」の開講クォーターを②→①・③へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「美術A」の開講クォーターを届出時の計画通り②→③へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「美術B」の開講クォーターを届出時の計画通り②→④へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「倫理学」の開講クォーターを①→①・④へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「考古学A」の開講クォーターを③→①へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「考古学B」の開講クォーターを届出時の計画通り③→①へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「日本史B」の開講クォーターを②→①・③へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「法学B」の開講クォーターを①→③へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「日本国憲法」の兼任・兼任教員数を「2」→「3」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「政治学A」の開講クォーターを③→①・②へ、兼任・兼任教員数を「4」→「3」へ変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
- ・時間割編成の都合により、「科学技術論A」の開講クォーターを①→②へ変更。

【学際科目】

- ・時間割編成の都合により、「文化の比較」の兼任・兼任教員数を「4」→「3」へ変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
- ・時間割編成の都合により、「異文化との接点」の開講クォーターを①・③→①・②・④へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「文化をめぐって」の開講クォーターを④→①へ変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「思想・文化をめぐって」の兼任・兼任教員数を「3」→「4」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「日本との出会い」の開講クォーターを③・④→①・②・③へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「環境と倫理問題」の兼任・兼任教員数を「2」→「3」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「こころとは」の開講クォーターを③・④→①・②へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「情報社会の構造」の担当者「教授1、准教授2、兼任・兼任3」→「教授1、兼任・兼任1」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「情報を読む」の兼任・兼任教員数を「4」→「5」に変更。

【スポーツ科目】

- ・時間割編成の都合により、「スポーツ実技(個人スポーツ)」の開講クォーターを①・②・③→①・④へ、「スポーツ実技(集団スポーツ)」の開講クォーターを①・③→②・③へ、「スポーツ実技(健康スポーツ)」の開講クォーターを②・③・④→①・④へ、「スポーツ実技(フィットネス)」の開講クォーターを①・③・④→③・④へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「スポーツ実技(生涯スポーツ)」の開講クォーターを①・②→①へ変更。担当教員の研究休暇に伴い兼任・兼任教員数「2」→「1」へ変更しているが、Q3開講予定クラスの担当教員1名を調整中であり、当初予定数を充足する見込み。

【必修外国語科目】

- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語 I / II / III / IV コミュニケーションスキルズ」(「14」→「15」)・「英語 V / VI / VII / VIII コミュニケーションスキルズ」(「11」→「14」)の兼任・兼任教員数を変更。

【選択必修外国語科目】

- ・時間割編成の都合により、「英語 I リスニング」(「7」→「6」)・「英語 II リスニング」(「6」→「4」)の兼任・兼任教員数を変更。担当教員数は減となるが、既に当該科目を担当している教員がクラス数を保持して対応するため教育上支障なし。
- ・「フランス語 I / II」の兼任・兼任教員数を届出時の計画通り「0」→「1」へ変更。

【英語展開科目】

- ・時間割編成の都合により、「英語ワークショップB」の開講クォーターを③・④→①・②へ、兼任・兼任教員数を届出時の計画通り「0」→「1」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語ワークショップD」の開講クォーターを①・②→③・④へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語 I 翻訳」の開講クォーターを①・③→①へ、兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語 II 翻訳」の開講クォーターを②・④→②へ、兼任・兼任教員数を「1」→「2」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語 I 通訳」の開講クォーターを①・③→①へ、「英語 II 通訳」の開講クォーターを②・④→②へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「実践英語 I A」の兼任・兼任教員数を「1」→「4」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「実践英語 I B」の開講クォーターを①・③→①へ変更。
- ・教育の充実のためのクラス数増に伴い、「実践英語 II A」の兼任・兼任教員数を「1」→「4」へ変更。
- ・時間割編成の都合により、「実践英語 II B」の開講クォーターを②・④→②へ変更。
- ・「英語 I / II プレゼンテーション」「英語イマージョンA」の兼任・兼任教員数を届出時の計画通り「0」→「1」へ変更。

【実践知形成科目のうち海外研修科目】

- ・新型コロナウイルスの影響により、短期留学プログラム(夏季)Bは未開講。

<学部共通科目および学科科目に係る変更について>

専任の准教授1名が退職したことにより、当該教員が担当する以下の科目の「専任教員等の配置」を変更。

- ・「理工学基礎演習」(教授1、准教授2、兼任・兼任1→教授1、准教授1、兼任・兼任2)
- ・「理工学概論(電子情報工学)」(教授6、准教授3→教授6、准教授2、兼任・兼任1)
- ・「電子工学基礎」(准教授1→兼任・兼任1)
- ・「電子情報工学実習」(准教授1→兼任・兼任1)
- ・「電子情報工学演習I～VIII」(教授6、准教授3→教授6、准教授2)
- ・「卒業研究I～IV」(教授6、准教授3→教授6、准教授2)
- ・「電子通信工学」(准教授1→准教授0) 当該科目は担当者0となるが、来年度開講科目のため学生への不利益はない。

- ・「理工学海外研修」について、新型コロナウイルスの影響により2021年度は未開講とした。1～3年次履修科目であり、2022年度は履修機会を確保できるよう努める。また、予定される受講者数を考慮し開講クォーターを②・④→④とする。

<2022年5月1日以降の変更>

2022年3月末に退職した専任准教授に代わり、2022年9月に分野適合教員を専任講師として任用した。これに伴い、当該教員が担当する以下の科目の「専任教員等の配置」を2022年5月1日現在の状況から変更。

- ・「電子工学基礎」(兼任・兼任1→講師1)
- ・「電子情報工学実習」(兼任・兼任1→講師1)
- ・「電子情報工学演習I～VIII」(教授6、准教授2→教授6、准教授2、講師1)
- ・「卒業研究I～IV」(教授6、准教授2→教授6、准教授2、講師1)
- ・「電子通信工学」(准教授0→講師1)

【令和5年度】

＜共通教育科目に係る変更について＞

【体育科目】

・「基礎体育A」は同一の教員が複数クラスを担当しているため、兼任・兼任人数を「13」→「12」に変更。

【「人間の尊厳」科目】

・時間割編成の都合により、「宗教にみる人間の尊厳」の兼任・兼任人数を「6」→「5」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「哲学・倫理学における人間の尊厳」の兼任・兼任人数を「5」→「4」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「政治・経済と人間の尊厳」の兼任・兼任人数を「4」→「3」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「法と人間の尊厳」の兼任・兼任人数を「4」→「3」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「性と文化における人間の尊厳」の兼任・兼任人数を「5」→「4」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「教育・文化における人間の尊厳」の兼任・兼任人数を「3」→「2」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。

【基盤科目】

・時間割編成の都合により、「哲学A」の開講クォーターを①・③→①・②に変更。
・時間割編成の都合により、「文学B」の開講クォーターを③→④に変更。
・時間割編成の都合により、「美術A」の開講クォーターを③→②・④に変更。
・時間割編成の都合により、「美術B」の開講クォーターを④→②に変更。
・時間割編成の都合により、「倫理学」の開講クォーターを①・④→①に変更。
・時間割編成の都合により、「考古学B」の開講クォーターを①→③に変更。
・時間割編成の都合により、「法学B」の開講クォーターを③→④に変更。
・時間割編成の都合により、「政治学B」の開講クォーターを①→③・④に変更。
・時間割編成の都合により、「社会学B」の兼任・兼任人数を「4」→「3」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「社会学B」の兼任・兼任人数を「2」→「1」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「健康科学論」の開講クォーターを③→②に変更。

【学際科目】

・時間割編成の都合により、「文化の比較」の開講クォーターを①→②・③・④に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「異文化との接触」の兼任・兼任人数を「4」→「5」に変更。
・時間割編成の都合により、「生命と倫理問題」の開講クォーターを①→②・④へ、兼任・兼任人数を「3」→「2」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「思想・文化をめぐって」の兼任・兼任人数を「4」→「2」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「日本との出会い」の兼任・兼任人数を「5」→「4」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「アジアとの出会い」の兼任・兼任人数を「4」→「3」に変更。
・時間割編成の都合により、「ヨーロッパとの出会い」の兼任・兼任人数を「5」→「4」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「異文化の理解」の開講クォーターを①・③・④→②・③・④へ、兼任・兼任人数を「4」→「3」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「人権をめぐって」の兼任・兼任人数を「3」→「2」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「政治・経済の諸相」の兼任・兼任人数を「9」→「10」に変更。
・時間割編成の都合により、「環境と倫理問題」の開講クォーターを①→③・④へ、兼任・兼任人数を「3」→「2」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「こころとは」の開講クォーターを①・②→②に変更。
・時間割編成の都合により、「こととは」の開講クォーターを①・②・③・④→②・③・④へ、兼任・兼任人数を「6」→「4」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「文化と情報」の兼任・兼任人数を「4」→「3」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「科学の諸相」の開講クォーターを①・④→①・②に変更。

【スポーツ科目】

・時間割編成の都合により、「スポーツ実技(個人スポーツ)」の開講クォーターを①・④→③・④に変更。
・時間割編成の都合により、「スポーツ実技(集団スポーツ)」の開講クォーターを②・③→①に変更。
・時間割編成の都合により、「スポーツ実技(健康スポーツ)」の開講クォーターを①・④→③・④に変更。
・時間割編成の都合により、「スポーツ実技(生涯スポーツ)」の開講クォーターを①→③・④に変更。
・時間割編成の都合により、「スポーツ実技(フィットネス)」の開講クォーターを③・④→①・④に変更。

【必修外国語科目】

・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語Iコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「15」→「16」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語IIコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「15」→「16」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語IIIコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「15」→「16」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語IVコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「15」→「16」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語Vコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「14」→「15」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語VIコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「14」→「15」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語VIIコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「14」→「15」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語VIIIコミュニケーションスキルズ」の兼任・兼任人数を「14」→「15」に変更。

【選択必修外国語科目】

・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語Iリスニング」の兼任・兼任人数を「6」→「7」に変更。
・教育充実のためのクラス数増に伴い、「英語IIリスニング」の兼任・兼任人数を「4」→「5」に変更。
・時間割編成の都合により、「英語I翻訳」の兼任・兼任人数を「2」→「1」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。
・時間割編成の都合により、「英語II翻訳」の兼任・兼任人数を「2」→「1」に変更。当該科目の需要に充分対応できるクラス数を保持しているため教育上支障なし。

【実践知形成科目のうち海外研修科目】

・担当者退職により「短期留学プログラム(春季)A」の兼任・兼任人数を「2」→「0」に変更。2023年9月に担当者1名任用に向けて学内で手続き中。
・留学先でのプログラムにおいて本学が予定している内容の実現が困難であることから、「短期留学プログラム(夏季)B」は未開講。

＜学部共通科目および学科科目に係る変更について＞

2022年9月任用した専任講師が前任の教員の担当科目を引き継いだことにより、当該教員が担当する以下の科目の「専任教員等の配置」を変更。

・「理工学基礎演習」(教授1、准教授1、兼任・兼任2→教授1、准教授1、講師1、兼任・兼任2)
・「理工学概論(電子情報工学)」(教授6、准教授2、兼任・兼任1→教授6、准教授2、講師1)

・「微積分学III」について、再履修生が他の科目を履修するうえで不利益とならないようクラスを増設したことにより、兼任・兼任教員の人数を「1」→「2」に変更。
・「HW/SW 協調設計」について、時間割編成の都合により開講クォーターを②→③に変更。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
44 科目	144 科目	0 科目	188 科目	44 科目 []	144 科目 []	0 科目 []	188 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	短期留学プログラム (夏季) B	2	1・2・3	一般	選択	留学先でのプログラムにおいて本学が予定している内容の実現が困難であることから、2023年度の開講を見送りとした。1～3年次履修科目のため、来年度の履修機会確保に努める。(5)
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目である「短期留学プログラム（夏季）B」については、留学予定先において本学が求めるプログラムの実現が困難であり、当該科目の教育の質が担保できないと判断し、未開講とした。
 学生に対しては、令和5年度の履修登録開始前にシラバスで周知した。
 なお、当該科目は選択科目であり、履修した場合の単位は卒業に必要な単位に算入されるが、この科目が未開講となってもその他の選択科目を履修することで単位数上の問題は生じない。
 また、配当年次も複数学年にまたがっていることから、次年度以降開講することにより、履修機会がない学年はなく、履修上の不利益は生じない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{188} = \boxed{0.53} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借入面積：196㎡ 借入期間：H30.4.1～R3.3.31 令和2年10月に南山大学短期大学部 が廃止したことに伴い、短期大学部 専用の校舎敷地13,358㎡、運動場用 地3,066㎡、その他面積1,688㎡を大 学専用に参入したため。また、漕艇 部艇庫の借用地196㎡（H30.4.1～ R3.3.31）が契約満了に伴い、追加 分151㎡を含めた347㎡の土地を購入 したため。(3) 2022年3月1日から40年間の定期建物 賃貸借契約を締結し、学生寮用の土 地を3,099㎡借用した。これに伴い 校地等その他の面積を変更。(4)
	校 舎 敷 地	113,423㎡ 100,065㎡	0㎡	0㎡	113,423㎡ 100,065㎡	
	運 動 場 用 地	32,974㎡ 29,757㎡	0㎡	0㎡	32,974㎡ 29,757㎡	
	小 計	146,397㎡ 129,822㎡	0㎡	0㎡	146,397㎡ 129,822㎡	
	そ の 他	14,070㎡ 10,971㎡ 9,283㎡	0㎡	0㎡	14,070㎡ 10,971㎡ 9,283㎡	
	合 計	160,467㎡ 157,368㎡ 139,105㎡	0㎡	0㎡	160,467㎡ 157,368㎡ 139,105㎡	
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
		115,372㎡ (115,372㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	115,372㎡ (115,372㎡)	
(3) 教 室 等	講 義 室	184室 186室 185室	2室 6室	24室	0室 2室 4室 (補助職員 43人) (補助職員 44人) (補助職員 36人) (補助職員 51人)	4室 大学全体 情報処理学習施設の補助職員の減少 については、新型コロナウイルス感 染症の影響により雇用に至らなかつ たことによる。(3) 情報処理学習施設の補助職員の増加 については、愛知県のみん延防止等 重点措置解除を受け、対面授業を増 やしたことによる。(4) 情報処理学習施設の補助職員の減少 については、例年同様募集したもの の結果として雇用に至らなかつたこ とによる。(5) 情報処理学習施設2室を講義室と自 習室へと用途変更したため、情報処 理学習施設が2室減少し、講義室が1 室増加。また、演習室4室を学生研 究室へと用途変更したため、演習室 が4室減少。(4) 講義室2室と情報処理学習施設2室を 学生研究室へと用途変更したため、 講義室2室と情報処理学習施設が各2 室減少。 情報処理学習室が0室となっている が、学内ではBYOD環境のある教室を 整備しているため、教育・研究活動 に支障はない。(5)
	演 習 室					
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		
		理工学部 電子情報工学科		9 室		

(5)	新設学部等の名称	図書		学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分と合わせた数
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種				
図書・設備	理工学部電子情報工学科	25,400 [10,118] 25,517 [10,147] 25,522 [10,155] 25,362 [10,167]	3,040 [2,830] 3,060 [2,856] 3,055 [2,858] 2,700 [2,487]	2,577 [2,577] 2,612 [2,604] 2,615 [2,607] 2,239 [2,235]	17 19 14	2,792 2,691 2,519 2,257	2	<p>図書</p> <p>766,558冊 [332,604冊] 766,918冊 [332,089冊] 767,603冊 [332,304冊] 724,058冊 [318,738冊] (760,921冊 [331,114冊]) (755,285冊 [329,218冊]) (749,742冊 [327,868冊]) (701,804冊 [312,261冊])</p> <p>学術雑誌</p> <p>116,431種 [107,052種] 81,248種 [71,766種] 80,480種 [71,371種] 89,244種 [80,252種] (115,451種 [106,048種]) (80,103種 [70,472種]) (79,808種 [70,208種]) (88,889種 [79,081種])</p> <p>学術雑誌のうち電子ジャーナル</p> <p>101,599タイトル [101,376タイトル] 66,563タイトル [66,099タイトル] 66,921タイトル [66,487タイトル] 76,025タイトル [75,619タイトル] (100,593タイトル [100,372タイトル]) (65,252タイトル [64,797タイトル]) (64,953タイトル [64,532タイトル]) (73,789タイトル [73,395タイトル])</p> <p>視聴覚資料</p> <p>28,946点 29,311点 29,219点 29,816点 (28,905点) (29,370点) (29,363点) (29,459点)</p> <p>機械・器具・標本は大学全体の数値</p>	
	計	25,400 [10,118] 25,517 [10,147] 25,522 [10,155] 25,362 [10,167]	3,040 [2,830] 3,060 [2,856] 3,055 [2,858] 2,700 [2,487]	2,577 [2,577] 2,612 [2,604] 2,615 [2,607] 2,239 [2,235]	17 19 14	2,792 2,691 2,519 2,257	2	<p>(25,266 [10,099]) (25,203 [10,087]) (25,048 [10,062]) (24,774 [9,996])</p> <p>(3,015 [2,805]) (3,023 [2,805]) (2,999 [2,781]) (2,629 [2,419])</p> <p>(2,552 [2,552]) (2,561 [2,553]) (2,538 [2,530]) (2,173 [2,169])</p> <p>(17) (16) (14)</p> <p>(2,792) (2,691) (2,519) (2,257)</p> <p>(2)</p> <p>図書について見込み数から増加した理由は、短期大学部廃止後、短期大学部所蔵図書が大学に移管されたため。電子ジャーナルについて、大学全体のタイトル数の減少は、特定の契約アグリゲータの収録タイトルに大幅な減少があったことによる。学術雑誌について、大学全体の種類の減少は、オープンアクセス可能なタイトルの除籍による。大学全体の視聴覚資料の減少は、カセット・ビデオ等再生不能な資料の除籍による。当該学部の教育・研究に影響はない。理工学分野のタイトル数あるいは点数は教育・研究充実のため増加。(3) 図書、学術雑誌、電子ジャーナル、視聴覚資料、機械・器具について、理工学分野の現在の数値は教育・研究充実のため増加。(4) 理工学分野と大学全体の図書と視聴覚資料について、紙媒体から電子媒体への移行に伴い減少しているが、ここには含まれないデータベース等の電子資料は充実している。理工学分野の学術雑誌種数の減少は、電子ジャーナルが無料化となったことなどによる。大学全体の学術雑誌種数の大幅な増加は、電子ブックから電子ジャーナルへの資料タイプの変更が多数あったため。(5) キャンパス改修に伴い、教室内等に機械・器具を新たに整備したことによる、機械・器具の増。(3) 研究室、事務室及び学生寮へ機械・器具を新たに整備したことによる、機械・器具数の増。(4) 図書館の改修工事に伴い、機械・器具を新たに整備したことによる、機械・器具数の増。(5)</p>	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体 閲覧座席数増は閲覧機の設置による。収納可能冊数の減少は書架の棚組の変更による。(3) 図書館の面積について、端数処理を他の面積と統一したため1㎡面積増。(4) 閲覧座席数・収納可能冊数とも改修工事により減少。閲覧座席数については、その他学習スペースを学内に複数設けており、収容可能冊数については、蔵書構築方針に合わせて除籍を進めていることから、教育・研究上支障等がない。(5)		
	10,304㎡	10,303㎡	554	827	913,950	920,100			
				813		1,007,611			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	12,703㎡		テニスコート5面		体育センター（メインアリーナ、卓球場、剣道場、柔道場、室内温水プール、トレーニングルーム等）				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費、図書購入費は大学全体図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む 図書購入費の増加は、教育用図書費（開設前年度）および電子リソース利用料（開設年度）の増額による(3) リモートアクセスツール購入に伴う予算組み替えにより完成年度における図書購入費は減額したが、必要な予算は十分確保されており、理工学部の教育・研究活動に支障はない。(4)
		教員1人当り研究費等	650千円	650千円	図書購入費	243,565千円 242,763千円	245,145千円 242,763千円	243,047千円 245,145千円 242,763千円	
		共同研究費等	23,400千円	23,400千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	入学金250千円を含む	
		1,340千円	1,090千円	1,090千円	1,090千円	-	-		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用および手数料収入等で充当する						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	南山大学										0	1	0	1
	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	0	1									
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
人文学部	4	340	3年次 5	1,370	—	1.03	1.03	1.06	1.02	—	昭和24	—		
キリスト教学科	4	20	—	80	学士(人文学)	1.15	—	1.15	1.11	—	昭和37	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地		
人類文化学科	4	110	—	440	学士(人文学)	1.01	1.01	1.06	1.01	—	平成12	同上		
心理人間学科	4	110	3年次 5	450	学士(人文学)	1.06	—	1.08	1.04	—	平成12	同上		
日本文化学科	4	100	—	400	学士(人文学)	0.99	—	1.02	0.99	—	平成12	同上		
外国語学部	4	390	3年次 12	1,584	—	0.97	—	1.02	0.95	—	昭和38	—		
英米学科	4	150	3年次 9	618	学士(外国研究)	1.00	—	1.01	0.97	—	昭和38	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地		
スペイン・ラテンアメリカ学科	4	60	—	240	学士(外国研究)	0.84	—	0.99	—	—	昭和38	同上		
フランス学科	4	60	—	240	学士(外国研究)	0.96	—	1.00	—	—	平成12	同上		
ドイツ学科	4	60	—	240	学士(外国研究)	0.90	—	1.00	—	—	平成12	同上		
アジア学科	4	60	3年次 3	246	学士(外国研究)	1.10	1.09	1.13	1.08	—	平成12	同上		
経済学部	4	275	—	1,100	—	1.01	1.01	1.04	1.00	—	昭和35	—		
経済学科	4	275	—	1,100	学士(経済学)	1.01	1.01	1.04	1.00	—	昭和35	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地		
経営学部	4	270	—	1,080	—	1.01	—	1.03	1.01	—	昭和43	—		
経営学科	4	270	—	1,080	学士(経営学)	1.01	—	1.03	1.01	—	昭和43	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地		
法学部	4	275	—	1,100	—	1.04	1.04	1.06	1.03	—	昭和52	—		
法律学科	4	275	—	1,100	学士(法学)	1.04	1.04	1.06	1.03	—	昭和52	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地		
総合政策学部	4	275	3年次 10	1,120	—	1.00	—	1.02	0.99	—	平成12	—		
総合政策学科	4	275	3年次 10	1,120	学士(総合政策学)	1.00	—	1.02	0.99	—	平成12	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地		

大学の名称		南山大学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AO期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
理工学部	年	人	年次	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度	—						
システム数理学科	4	270	—	890	—	1.03	1.03	1.01	1.00	—	平成12	—						
ソフトウェア工学科	4	—	—	—	学士(理工学)	—	—	—	—	—	平成12	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地	令和3年度入学生より学生募集停止					
機械電子制御工学科	4	70	—	290	学士(理工学)	1.07	1.06	1.09	1.05	令和3	平成21	同上	令和3年度から入学定員変更(80→70)					
データサイエンス学科	4	—	—	—	学士(理工学)	—	—	—	—	—	平成21	同上	令和3年度入学生より学生募集停止					
電子情報工学科	4	70	—	210	学士(理工学)	1.08	—	1.06	—	—	令和3	同上						
機械システム工学科	4	65	—	195	学士(理工学)	0.97	—	0.98	—	—	令和3	同上						
国際教養学部	4	65	—	195	学士(理工学)	0.90	—	0.87	—	—	令和3	同上						
国際教養学科	4	150	3年次 ₅	610	—	1.02	—	1.06	1.00	—	平成29	—						
国際教養学科	4	150	3年次 ₅	610	学士(国際教養学)	1.02	—	1.06	1.00	—	平成29	愛知県名古屋市昭和区山里町18番地						
大学全体	4	2,245	3年次 ₃₂	8,854	—	—	—	—	—	—	—	—						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「—」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	陳 幹 <令和3年4月> 博士(工学) 理工学基礎演習 ※ PBL実践演習(機械システム工学) 計測工学
兼任	教授	大石 泰章 <令和3年4月> 博士(工学) 人間と機械 物理学基礎 制御工学基礎
兼任	教授	白石 高章 <令和3年4月> 理学博士 統計学概論 多変量解析
兼任	教授	佐々木 美裕 <令和3年4月> 博士(情報学) 情報を読む 理工学海外研修 数理解最適化
兼任	教授	小藤 俊幸 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学I ※
兼任	教授	本田 晋也 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学II ※ 機械制御プログラミング HW/SW協調設計
兼任	教授	松田 真一 <令和3年4月> 博士(工学) 情報を読む 微積分学III 統計データ解析法
兼任	教授	坂本 登 <令和3年4月> 博士(工学) 線形代数学III 制御理論II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	陳 幹 <令和3年4月> 博士(工学) 理工学基礎演習 ※ PBL実践演習(機械システム工学) 計測工学
兼任	教授	大石 泰章 <令和3年4月> 博士(工学) 人間と機械 物理学基礎 制御工学基礎
兼任	教授	白石 高章 <令和3年4月> 理学博士 統計学概論 多変量解析
兼任	教授	佐々木 美裕 <令和3年4月> 博士(情報学) 情報を読む 理工学海外研修 数理解最適化
兼任	教授	小藤 俊幸 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学I ※
兼任	教授	本田 晋也 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学II ※ 機械制御プログラミング HW/SW協調設計
兼任	教授	松田 真一 <令和3年4月> 博士(工学) 情報を読む 微積分学III 統計データ解析法
兼任	教授	坂本 登 <令和3年4月> 博士(工学) 線形代数学III 制御理論II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	講師	藤原 正浩 <令和4年9月> 博士(情報理工学) 電子工学基礎 電子情報工学実習 電子情報工学演習I 電子情報工学演習II 電子情報工学演習III 電子情報工学演習IV 電子情報工学演習V 電子情報工学演習VI 電子情報工学演習VII 電子情報工学演習VIII 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 卒業研究IV 電子通信工学 電子情報工学演習II
兼任	教授	陳 幹 <令和3年4月> 博士(工学) 理工学基礎演習 ※ PBL実践演習(機械システム工学) 計測工学
兼任	教授	大石 泰章 <令和3年4月> 博士(工学) 人間と機械 物理学基礎 制御工学基礎
兼任	教授	白石 高章 <令和3年4月> 理学博士 統計学概論 多変量解析
兼任	教授	佐々木 美裕 <令和3年4月> 博士(情報学) 情報を読む 理工学海外研修 数理解最適化
兼任	教授	小藤 俊幸 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学I ※
兼任	教授	本田 晋也 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学II ※ 機械制御プログラミング HW/SW協調設計
兼任	教授	松田 真一 <令和3年4月> 博士(工学) 情報を読む 微積分学III 統計データ解析法
兼任	教授	坂本 登 <令和3年4月> 博士(工学) 線形代数学III 制御理論II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	講師	藤原 正浩 <令和4年9月> 博士(情報理工学) 理工学基礎演習 ※ 理工学概論(電子情報工学) ※ 電子工学基礎 電子情報工学実習 電子情報工学演習I 電子情報工学演習II 電子情報工学演習III 電子情報工学演習IV 電子情報工学演習V 電子情報工学演習VI 電子情報工学演習VII 卒業研究I 卒業研究II 卒業研究III 卒業研究IV 電子通信工学 電子情報工学演習II
兼任	教授	陳 幹 <令和3年4月> 博士(工学) 理工学基礎演習 ※ PBL実践演習(機械システム工学) 計測工学
兼任	教授(学部長)	大石 泰章 <令和3年4月> 博士(工学) 人間と機械 物理学基礎 制御工学基礎
兼任	教授	白石 高章 <令和3年4月> 理学博士 統計学概論 多変量解析
兼任	教授	佐々木 美裕 <令和3年4月> 博士(情報学) 情報を読む 理工学海外研修 数理解最適化
兼任	教授	小藤 俊幸 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学I ※
兼任	教授	本田 晋也 <令和3年4月> 博士(工学) 微積分学II ※ 機械制御プログラミング HW/SW協調設計
兼任	教授	松田 真一 <令和3年4月> 博士(工学) 情報を読む 微積分学III 統計データ解析法
兼任	教授	坂本 登 <令和3年4月> 博士(工学) 線形代数学III 制御理論II

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	野呂 昌満 <令和3年4月> 工学博士	システムプログラミング プログラミング言語
兼任	教授	吉田 敦 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア工学基礎 計算機アーキテクチャとOS
兼任	教授	沢田 篤史 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア開発技術I ソフトウェア開発技術II ※ PBL実践演習(ソフトウェア工学)
兼任	教授	蜂巣 吉成 <令和3年4月> 博士(工学)	情報モデリング
兼任	教授	河野 浩之 <令和3年4月> 博士(工学)	数理技術プログラミング 機械学習の数理 PBL実践演習(データサイエンス)
兼任	教授	鈴木 敦夫 <令和3年4月> 工学博士	文化と情報 情報を読む OR概論
兼任	教授	杉本 謙二 <令和4年4月> 工学博士	制御理論I
兼任	教授	中島 明 <令和3年4月> 博士(工学)	機械工学基礎 PBL実践演習(機械システム工学)
兼任	教授	稲垣 伸吉 <令和3年4月> 博士(工学)	機械・材料力学
兼任	教授(学長)	KISALA, Robert <令和3年4月> 博士(文学)	宗教論
兼任	教授	三好 千春 <令和3年4月> 博士(文学)	キリスト教概論
兼任	教授	金 興烈 <令和3年4月> 博士(体育学)	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学論 スポーツ実技(アウトドアスポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	野呂 昌満 <令和3年4月> 工学博士	システムプログラミング プログラミング言語
兼任	教授	吉田 敦 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア工学基礎 計算機アーキテクチャとOS
兼任	教授(学部長)	沢田 篤史 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア開発技術I ソフトウェア開発技術II ※ PBL実践演習(ソフトウェア工学)
兼任	教授	蜂巣 吉成 <令和3年4月> 博士(工学)	情報モデリング
兼任	教授	河野 浩之 <令和3年4月> 博士(工学)	数理技術プログラミング 機械学習の数理 PBL実践演習(データサイエンス)
兼任	教授	鈴木 敦夫 <令和3年4月> 工学博士	文化と情報 情報を読む OR概論
兼任	教授	杉本 謙二 <令和4年4月> 工学博士	制御理論I
兼任	教授	中島 明 <令和3年4月> 博士(工学)	機械工学基礎 PBL実践演習(機械システム工学)
兼任	教授	稲垣 伸吉 <令和3年4月> 博士(工学)	機械・材料力学
兼任	教授(学長)	KISALA, Robert <令和3年4月> 博士(文学)	宗教論
兼任	教授	三好 千春 <令和3年4月> 博士(文学)	キリスト教概論
兼任	教授	金 興烈 <令和3年4月> 博士(体育学)	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学論 スポーツ実技(アウトドアスポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	野呂 昌満 <令和3年4月> 工学博士	システムプログラミング プログラミング言語
兼任	教授	吉田 敦 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア工学基礎 計算機アーキテクチャとOS
兼任	教授(学部長)	沢田 篤史 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア開発技術I ソフトウェア開発技術II ※ PBL実践演習(ソフトウェア工学)
兼任	教授	蜂巣 吉成 <令和3年4月> 博士(工学)	情報モデリング
兼任	教授	河野 浩之 <令和3年4月> 博士(工学)	数理技術プログラミング 機械学習の数理 PBL実践演習(データサイエンス)
兼任	教授	鈴木 敦夫 <令和3年4月> 工学博士	文化と情報 情報を読む OR概論
兼任	教授	杉本 謙二 <令和4年4月> 工学博士	制御理論I
兼任	教授	中島 明 <令和3年4月> 博士(工学)	機械工学基礎 PBL実践演習(機械システム工学)
兼任	教授	稲垣 伸吉 <令和3年4月> 博士(工学)	機械・材料力学
兼任	教授(学長)	KISALA, Robert <令和3年4月> 博士(文学)	宗教論
兼任	教授	三好 千春 <令和3年4月> 博士(文学)	キリスト教概論
兼任	教授	金 興烈 <令和3年4月> 博士(体育学)	基礎体育A スポーツ科学論 スポーツ実技(集団スポーツ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	野呂 昌満 <令和3年4月> 工学博士	システムプログラミング プログラミング言語
兼任	教授	吉田 敦 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア工学基礎 計算機アーキテクチャとOS
兼任	教授	沢田 篤史 <令和3年4月> 博士(工学)	ソフトウェア開発技術I ソフトウェア開発技術II ※ PBL実践演習(ソフトウェア工学)
兼任	教授	蜂巣 吉成 <令和3年4月> 博士(工学)	情報モデリング
兼任	教授	河野 浩之 <令和3年4月> 博士(工学)	数理技術プログラミング 機械学習の数理 PBL実践演習(データサイエンス)
兼任	教授	鈴木 敦夫 <令和3年4月> 工学博士	文化と情報 情報を読む OR概論
兼任	教授	杉本 謙二 <令和4年4月> 工学博士	制御理論I
兼任	教授	中島 明 <令和3年4月> 博士(工学)	機械工学基礎 PBL実践演習(機械システム工学)
兼任	教授	稲垣 伸吉 <令和3年4月> 博士(工学)	機械・材料力学
兼任	教授(学長)	KISALA, Robert <令和3年4月> 博士(文学)	宗教論
兼任	教授	三好 千春 <令和3年4月> 博士(文学)	キリスト教概論
兼任	教授	金 興烈 <令和3年4月> 博士(体育学)	基礎体育A 基礎体育B スポーツ科学論 スポーツ実技(アウトドアスポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 望 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	宗教に見る人間の尊厳
兼任	教授	松根 伸治 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳
兼任	教授	奥田 太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳 生命と倫理問題
兼任	教授	豊島 明子 ＜令和3年4月＞ 修士(法学)※	法と人間の尊厳
兼任	教授	沢登 文治 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法と人間の尊厳 日本国憲法
兼任	教授	VOLPE, Angelina ＜令和3年4月＞ Doctorato in Missiologia(イタリア)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	西脇 良 ＜令和3年4月＞ 博士(心理学)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	坂中 正義 ＜令和3年4月＞ 博士(心理学)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	谷口 佳津宏 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	哲学A 哲学B 倫理学
兼任	教授	渡邊 学 ＜令和3年4月＞ 文学博士	哲学B 社会の諸相
兼任	教授	渡部 森哉 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	考古学B
兼任	教授	田中 実 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法学B
兼任	教授	原田 直枝 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	文学A
兼任	教授	辻本 裕成 ＜令和3年4月＞ 文学修士	文学B 日本との出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 望 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	宗教に見る人間の尊厳
兼任	教授	松根 伸治 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳
兼任	教授	奥田 太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳 生命と倫理問題
兼任	教授	豊島 明子 ＜令和3年4月＞ 修士(法学)※	法と人間の尊厳
兼任	教授	沢登 文治 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法と人間の尊厳 日本国憲法
兼任	教授	VOLPE, Angelina ＜令和3年4月＞ Doctorato in Missiologia(イタリア)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	西脇 良 ＜令和3年4月＞ 博士(心理学)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	谷口 佳津宏 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	哲学A 哲学B 倫理学
兼任	教授	渡邊 学 ＜令和3年4月＞ 文学博士	哲学B 社会の諸相
兼任	教授	渡部 森哉 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	考古学B
兼任	教授	田中 実 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法学B
兼任	教授	原田 直枝 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	文学A
兼任	教授	辻本 裕成 ＜令和3年4月＞ 文学修士	文学B 日本との出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 望 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	宗教に見る人間の尊厳
兼任	教授	松根 伸治 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳
兼任	教授	奥田 太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳 生命と倫理問題
兼任	教授	豊島 明子 ＜令和3年4月＞ 修士(法学)※	法と人間の尊厳
兼任	教授	沢登 文治 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法と人間の尊厳 日本国憲法
兼任	教授	VOLPE, Angelina ＜令和3年4月＞ Doctorato in Missiologia(イタリア)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	西脇 良 ＜令和3年4月＞ 博士(心理学)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	谷口 佳津宏 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	哲学A 哲学B 倫理学 哲学・倫理学における人間の尊厳
兼任	教授	渡部 森哉 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	考古学B
兼任	教授	田中 実 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法学B
兼任	教授	原田 直枝 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	文学A
兼任	教授	辻本 裕成 ＜令和3年4月＞ 文学修士	文学B 日本との出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	山田 望 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	宗教に見る人間の尊厳
兼任	教授	松根 伸治 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳
兼任	教授	奥田 太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	哲学・倫理学における人間の尊厳 生命と倫理問題
兼任	教授	沢登 文治 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法と人間の尊厳 日本国憲法
兼任	教授	VOLPE, Angelina ＜令和3年4月＞ Doctorato in Missiologia(イタリア)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	西脇 良 ＜令和3年4月＞ 博士(心理学)	教育・文化における人間の尊厳
兼任	教授	谷口 佳津宏 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	哲学A 哲学B 倫理学 哲学・倫理学における人間の尊厳
兼任	教授	渡部 森哉 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	考古学B
兼任	教授	田中 実 ＜令和3年4月＞ 法学修士※	法学B
兼任	教授	原田 直枝 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	文学A
兼任	教授	辻本 裕成 ＜令和3年4月＞ 文学修士	文学B 日本との出会い

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	林 順子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	日本史B 政治・経済の諸相
兼任	教授	菅原 真 ＜令和3年4月＞ 博士(法学)	日本国憲法
兼任	教授	POTTER, David M. ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Political Science(米国)	政治学A
兼任	教授	山岸 敬和 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Political Science(米国)	政治学B
兼任	教授	阪本 俊生 ＜令和3年4月＞ 博士(人間科学)	社会学B プライバシーと倫理
兼任	教授	林 尚志 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	経済学A
兼任	教授	寶多 康弘 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A
兼任	教授	岸 智子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A 経済学B
兼任	教授	宮元 忠敏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Mathematics (米国)	数学A 数学B 情報を読む
兼任	教授	浦上 昌則 ＜令和3年4月＞ 博士(教育心理学)	心理学A
兼任	教授	O'CONNELL, Sean ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in the Field of Intercultural Communication (オーストラリア)	文化の比較
兼任	教授	神崎 宣次 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	環境と倫理問題 生命と倫理問題
兼任	教授	山邊 省太 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	文学をめぐって
兼任	教授	CROKER, Robert ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	思想・文化をめぐって

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	林 順子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	日本史B 政治・経済の諸相
兼任	教授	POTTER, David M. ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Political Science(米国)	政治学A
兼任	教授	山岸 敬和 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Political Science(米国)	政治学B
兼任	教授	阪本 俊生 ＜令和3年4月＞ 博士(人間科学)	社会学B プライバシーと倫理
兼任	教授	林 尚志 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	経済学A
兼任	教授	寶多 康弘 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A
兼任	教授	岸 智子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A 経済学B
兼任	教授	宮元 忠敏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Mathematics (米国)	数学A 数学B 情報を読む
兼任	教授	浦上 昌則 ＜令和3年4月＞ 博士(教育心理学)	心理学A
兼任	教授	O'CONNELL, Sean ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in the Field of Intercultural Communication (オーストラリア)	文化の比較
兼任	教授	神崎 宣次 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	環境と倫理問題 生命と倫理問題
兼任	教授	山邊 省太 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	文学をめぐって
兼任	教授	CROKER, Robert ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	思想・文化をめぐって

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	林 順子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	日本史B
兼任	教授	菅原 真 ＜令和3年4月＞ 博士(法学)	日本国憲法
兼任	教授	山岸 敬和 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Political Science(米国)	政治学B
兼任	教授	阪本 俊生 ＜令和3年4月＞ 博士(人間科学)	社会学B プライバシーと倫理
兼任	教授	林 尚志 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	経済学A
兼任	教授	寶多 康弘 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A
兼任	教授	岸 智子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A 経済学B
兼任	教授	宮元 忠敏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Mathematics (米国)	数学A 数学B 情報を読む
兼任	教授	浦上 昌則 ＜令和3年4月＞ 博士(教育心理学)	心理学A
兼任	教授	O'CONNELL, Sean ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in the Field of Intercultural Communication (オーストラリア)	文化の比較
兼任	教授	神崎 宣次 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	環境と倫理問題 生命と倫理問題
兼任	教授	CROKER, Robert ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	思想・文化をめぐって

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	林 順子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	日本史B
兼任	教授	菅原 真 ＜令和3年4月＞ 博士(法学)	日本国憲法
兼任	教授	山岸 敬和 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Political Science(米国)	政治学B
兼任	教授	阪本 俊生 ＜令和3年4月＞ 博士(人間科学)	社会学B プライバシーと倫理
兼任	教授	林 尚志 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	経済学A
兼任	教授	寶多 康弘 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A
兼任	教授	岸 智子 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	経済学A 経済学B
兼任	教授	宮元 忠敏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Mathematics (米国)	数学A 数学B 情報を読む
兼任	教授	浦上 昌則 ＜令和3年4月＞ 博士(教育心理学)	心理学A
兼任	教授	O'CONNELL, Sean ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in the Field of Intercultural Communication (オーストラリア)	文化の比較
兼任	教授	神崎 宣次 ＜令和3年4月＞ 博士(文学)	環境と倫理問題 生命と倫理問題
兼任	教授	CROKER, Robert ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	思想・文化をめぐって

日本との出会い

日本との出会い

異文化との接触

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	宮澤 千尋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	アジアとの出会い
兼任	教授	石原 美奈子 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	イスラムとの出会い
兼任	教授	真野 倫平 ＜令和3年4月＞ Doctorat es lettres(フランス)	ヨーロッパとの出会い
兼任	教授	久村 恵子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	社会の諸相
兼任	教授	川北 真紀子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	金綱 基志 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	澤井 実 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	藤本 潔 ＜令和3年4月＞ 理学博士	人間と環境
兼任	教授	薫 祥哲 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	社会システムと環境
兼任	教授	青柳 宏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)	ことばとは
兼任	教授	斎藤 衛 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(米国)	ことばとは
兼任	教授	棚山 洋介 ＜令和3年4月＞ 文学修士	ことばとは
兼任	教授	石崎 保明 ＜令和3年4月＞ 修士(文学)※	ことばとは
兼任	教授	川浦 佐知子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Integral Studies(米国)	知識の探求
兼任	教授	永井 英治 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	知識の探求

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	宮澤 千尋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	アジアとの出会い
兼任	教授	石原 美奈子 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	イスラムとの出会い 文化人類学A
兼任	教授	真野 倫平 ＜令和3年4月＞ Doctorat es lettres(フランス)	ヨーロッパとの出会い
兼任	教授	久村 恵子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	社会の諸相
兼任	教授	川北 真紀子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	金綱 基志 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	澤井 実 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	藤本 潔 ＜令和3年4月＞ 理学博士	人間と環境
兼任	教授	薫 祥哲 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	社会システムと環境
兼任	教授	青柳 宏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)	ことばとは
兼任	教授	斎藤 衛 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy(米国)	ことばとは
兼任	教授	棚山 洋介 ＜令和3年4月＞ 文学修士	ことばとは
兼任	教授	石崎 保明 ＜令和3年4月＞ 修士(文学)※	ことばとは 英語リーディング 英語リーディング
兼任	教授	川浦 佐知子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Integral Studies(米国)	知識の探求
兼任	教授	永井 英治 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	知識の探求 文化と情報

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	宮澤 千尋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	アジアとの出会い
兼任	教授	石原 美奈子 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	イスラムとの出会い 文化人類学A
兼任	教授	真野 倫平 ＜令和3年4月＞ Doctorat es lettres(フランス)	ヨーロッパとの出会い
兼任	教授	久村 恵子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	社会の諸相
兼任	教授	川北 真紀子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	金綱 基志 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	藤本 潔 ＜令和3年4月＞ 理学博士	人間と環境
兼任	教授	薫 祥哲 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	社会システムと環境
兼任	教授	青柳 宏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)	ことばとは
兼任	教授	棚山 洋介 ＜令和3年4月＞ 文学修士	ことばとは
兼任	教授	石崎 保明 ＜令和3年4月＞ 修士(文学)※	ことばとは 英語リーディング 英語リーディング
兼任	教授	川浦 佐知子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Integral Studies(米国)	知識の探求
兼任	教授	永井 英治 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	知識の探求 文化と情報

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	宮澤 千尋 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	アジアとの出会い
兼任	教授	石原 美奈子 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)	イスラムとの出会い 文化人類学A
兼任	教授	真野 倫平 ＜令和3年4月＞ Doctorat es lettres(フランス)	ヨーロッパとの出会い
兼任	教授	久村 恵子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	社会の諸相
兼任	教授	川北 真紀子 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	金綱 基志 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)	政治・経済の諸相
兼任	教授	藤本 潔 ＜令和3年4月＞ 理学博士	人間と環境
兼任	教授	薫 祥哲 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Economics (米国)	社会システムと環境
兼任	教授	青柳 宏 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)	ことばとは
兼任	教授	棚山 洋介 ＜令和3年4月＞ 文学修士	ことばとは
兼任	教授	石崎 保明 ＜令和3年4月＞ 修士(文学)※	ことばとは
兼任	教授	川浦 佐知子 ＜令和3年4月＞ Doctor of Philosophy in Integral Studies(米国)	知識の探求
兼任	教授	永井 英治 ＜令和3年4月＞ 文学修士※	知識の探求

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	HOWREY, John <令和3年4月> Master of Arts in TESL(米国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	教授	KLUGE David E. <令和3年4月> Master of Arts, English (English as a Foreign/Second Language) (米国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語ワークショップA
兼任	教授	星野 昌裕 <令和3年4月> 博士(法学)	短期留学プログラム(春季)A 短期留学プログラム(夏季)A 短期留学プログラム(夏季)B
兼任	教授	三輪 まどか <令和3年4月> 博士(国際経済法学)	法と人間の尊厳 法学A
兼任	教授	中屋 宏隆 <令和3年4月> 博士(経済学)	ヨーロッパとの出会い
兼任	教授	中田 晶子 <令和3年4月> 文学修士※	日本との出会い
兼任	教授	丹羽 牧代 <令和3年4月> 文学修士※	異文化の理解 ことばとは 英語Iリーディング 英語IIリーディング
		塩濱 敬之 <令和3年4月> 博士(理学)	線形代数学II ※ 数値技術プログラミング ビッグデータ概論 PBL実践演習(データサイエンス)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	HOWREY, John <令和3年4月> Master of Arts in TESL(米国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	教授	KLUGE David E. <令和3年4月> Master of Arts, English (English as a Foreign/Second Language) (米国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ 英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語ワークショップA
兼任	教授	三輪 まどか <令和3年4月> 博士(国際経済法学)	法と人間の尊厳 法学A
兼任	教授	中屋 宏隆 <令和3年4月> 博士(経済学)	ヨーロッパとの出会い
兼任	教授	中田 晶子 <令和3年4月> 文学修士※	日本との出会い 英語Iリーディング 英語IIリーディング
兼任	教授	丹羽 牧代 <令和3年4月> 文学修士※	異文化の理解 ことばとは 英語Iリーディング 英語IIリーディング 英語IIIリーディング
		塩濱 敬之 <令和3年4月> 博士(理学)	線形代数学II ※ 数値技術プログラミング ビッグデータ概論 PBL実践演習(データサイエンス)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	HOWREY, John <令和3年4月> Master of Arts in TESL(米国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	教授	KLUGE David E. <令和3年4月> Master of Arts, English (English as a Foreign/Second Language) (米国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ 英語ワークショップA
兼任	教授	三輪 まどか <令和3年4月> 博士(国際経済法学)	法と人間の尊厳 法学A
兼任	教授	中屋 宏隆 <令和3年4月> 博士(経済学)	ヨーロッパとの出会い
兼任	教授	中田 晶子 <令和3年4月> 文学修士※	日本との出会い 英語Iリーディング 英語IIリーディング 英語I翻訳 英語II翻訳
兼任	教授	丹羽 牧代 <令和3年4月> 文学修士※	異文化の理解 ことばとは 英語Iリーディング 英語IIリーディング
		塩濱 敬之 <令和3年4月> 博士(理学)	線形代数学II ※ 数値技術プログラミング ビッグデータ概論 PBL実践演習(データサイエンス)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	HOWREY, John <令和3年4月> Master of Arts in TESL(米国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語Iライティング 英語IIライティング
兼任	教授	三輪 まどか <令和3年4月> 博士(国際経済法学)	法と人間の尊厳 法学A
兼任	教授	中田 晶子 <令和3年4月> 文学修士※	日本との出会い 英語Iリーディング 英語IIリーディング
兼任	教授	塩濱 敬之 <令和3年4月> 博士(理学)	線形代数学II ※ 数値技術プログラミング ビッグデータ概論 PBL実践演習(データサイエンス) 微積分学III

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	阿部 俊弘 <令和3年4月> 博士(理学) 線形代数学II ※ 数理技術プログラミング ビッグデータ概論 PBL実践演習(データサイエンス)
兼任	准教授	横森 励士 <令和3年4月> 博士(工学) アルゴリズムとデータ構造
兼任	准教授	張 漢明 <令和3年4月> 博士(工学) 情報倫理 機械制御プログラミング PBL実践演習(機械システム工学)
兼任	准教授	RAJCANI, Jakub <令和3年4月> Doctor of Theology(イタリア) 宗教論 性と生命における人間の尊厳
兼任	准教授	佐藤 啓介 <令和3年4月> 博士(文学) 宗教に見る人間の尊厳 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	岡崎 隆哲 <令和3年4月> 博士(哲学) 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	MERE, Winibaldus Stefanus <令和3年4月> PhD in Law(英国) 政治・経済と人間の尊厳 人権をめぐる
兼任	准教授	高田 一樹 <令和3年4月> 博士(学術) 政治・経済と人間の尊厳
兼任	准教授	西村 邦行 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(米国) 政治・経済と人間の尊厳 政治学B 政治・経済の諸相
兼任	准教授	服部 寛 <令和3年4月> 博士(法学) 法と人間の尊厳
兼任	准教授	中尾 央 <令和3年4月> 博士(文学) 性と生命における人間の尊厳 科学技術論A 科学の諸相

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	横森 励士 <令和3年4月> 博士(工学) 情報社会の構造 アルゴリズムとデータ構造
兼任	准教授	張 漢明 <令和3年4月> 博士(工学) 情報倫理 機械制御プログラミング PBL実践演習(機械システム工学)
兼任	准教授	RAJCANI, Jakub <令和3年4月> Doctor of Theology(イタリア) 宗教論 性と生命における人間の尊厳
兼任	准教授	岡崎 隆哲 <令和3年4月> 博士(哲学) 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	MERE, Winibaldus Stefanus <令和3年4月> PhD in Law(英国) 政治・経済と人間の尊厳 人権をめぐる
兼任	准教授	高田 一樹 <令和3年4月> 博士(学術) 政治・経済と人間の尊厳
兼任	准教授	西村 邦行 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(米国) 政治・経済と人間の尊厳 政治学B 政治・経済の諸相
兼任	准教授	服部 寛 <令和3年4月> 博士(法学) 法と人間の尊厳
兼任	准教授	中尾 央 <令和3年4月> 博士(文学) 性と生命における人間の尊厳 科学技術論A 科学の諸相

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	横森 励士 <令和3年4月> 博士(工学) アルゴリズムとデータ構造
兼任	准教授	張 漢明 <令和3年4月> 博士(工学) 情報倫理 機械制御プログラミング PBL実践演習(機械システム工学)
兼任	准教授	RAJCANI, Jakub <令和3年4月> Doctor of Theology(イタリア) 宗教論 性と生命における人間の尊厳
兼任	准教授	岡崎 隆哲 <令和3年4月> 博士(哲学) 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	MERE, Winibaldus Stefanus <令和3年4月> PhD in Law(英国) 政治・経済と人間の尊厳 人権をめぐる
兼任	准教授	高田 一樹 <令和3年4月> 博士(学術) 政治・経済と人間の尊厳
兼任	准教授	西村 邦行 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(米国) 政治・経済と人間の尊厳 政治学B 政治・経済の諸相
兼任	准教授	服部 寛 <令和3年4月> 博士(法学) 法と人間の尊厳
兼任	准教授	中尾 央 <令和3年4月> 博士(文学) 性と生命における人間の尊厳 科学技術論A 科学の諸相

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	野口 晃弘 <令和5年4月> 博士(経済学) 政治・経済の諸相
兼任	准教授	横森 励士 <令和3年4月> 博士(工学) アルゴリズムとデータ構造
兼任	准教授	張 漢明 <令和3年4月> 博士(工学) 情報倫理 機械制御プログラミング PBL実践演習(機械システム工学) 理工学基礎演習 ※
兼任	准教授	RAJCANI, Jakub <令和3年4月> Doctor of Theology(イタリア) 宗教論 性と生命における人間の尊厳
兼任	准教授	岡崎 隆哲 <令和3年4月> 博士(哲学) 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	MERE, Winibaldus Stefanus <令和3年4月> PhD in Law(英国) 政治・経済と人間の尊厳 人権をめぐる
兼任	准教授	高田 一樹 <令和3年4月> 博士(学術) 政治・経済と人間の尊厳
兼任	教授	西村 邦行 <令和5年4月> Doctor of Philosophy(米国) 政治・経済と人間の尊厳 政治学B 政治・経済の諸相
兼任	教授	服部 寛 <令和5年4月> 博士(法学) 法と人間の尊厳
兼任	准教授	中尾 央 <令和3年4月> 博士(文学) 性と生命における人間の尊厳 科学技術論A 科学の諸相

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	MUNSI, Roger Vanzila <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	民族問題と人間の尊厳 文化人類学A
兼任	准教授	宮脇 千絵 <令和3年4月> 博士(文学)	民族問題と人間の尊厳
兼任	准教授	伊東 留美 <令和3年4月> Master of Arts(Art Therapy)(米国)	美術A 美術B 心理学A 心理学B
兼任	准教授	上峯 篤史 <令和3年4月> 博士(文化史学)	考古学A
兼任	准教授	山下 忠康 <令和3年4月> 博士(経営学)	経済学B 政治・経済の諸相
兼任	准教授	畑山 知子 <令和3年4月> 博士(人間環境学)	健康科学論 スポーツ実技(健康スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)
兼任	准教授	加藤 孝基 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	スポーツ科学演習A スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)
兼任	准教授	中尾 陽子 <令和3年4月> 修士(心理学)※	心理学A 心理学B
兼任	准教授	藤川 美代子 <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	異文化との接触 日本との出会い
兼任	准教授	森田 貴之 <令和3年4月> 博士(文学)	文学をめぐって
兼任	准教授	野口 博史 <令和3年4月> 修士(国際関係論)※	アジアとの出会い
兼任	准教授	小阪 知弘 <令和3年4月> Doctor en filología hispánica (スペイン)	ヨーロッパとの出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	MUNSI, Roger Vanzila <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	民族問題と人間の尊厳
兼任	准教授	宮脇 千絵 <令和3年4月> 博士(文学)	民族問題と人間の尊厳
兼任	准教授	伊東 留美 <令和3年4月> Master of Arts(Art Therapy)(米国)	美術A 美術B 心理学A 心理学B
兼任	准教授	上峯 篤史 <令和3年4月> 博士(文化史学)	考古学A
兼任	准教授	山下 忠康 <令和3年4月> 博士(経営学)	経済学B 政治・経済の諸相
兼任	准教授	畑山 知子 <令和3年4月> 博士(人間環境学)	健康科学論 スポーツ実技(健康スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)
兼任	准教授	加藤 孝基 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	人間と環境 スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(フィットネス)
兼任	准教授	中尾 陽子 <令和3年4月> 修士(心理学)※	心理学A 心理学B
兼任	准教授	藤川 美代子 <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	異文化との接触 日本との出会い
兼任	准教授	森田 貴之 <令和3年4月> 博士(文学)	文学をめぐって
兼任	准教授	野口 博史 <令和3年4月> 修士(国際関係論)※	アジアとの出会い
兼任	准教授	小阪 知弘 <令和3年4月> Doctor en filología hispánica (スペイン)	ヨーロッパとの出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	MUNSI, Roger Vanzila <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	民族問題と人間の尊厳
兼任	准教授	宮脇 千絵 <令和3年4月> 博士(文学)	民族問題と人間の尊厳
兼任	准教授	伊東 留美 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(Expressive Therapies)(米国)	美術A 美術B 心理学A 心理学B
兼任	准教授	上峯 篤史 <令和3年4月> 博士(文化史学)	考古学A
兼任	准教授	山下 忠康 <令和3年4月> 博士(経営学)	経済学B 政治・経済の諸相
兼任	准教授	畑山 知子 <令和3年4月> 博士(人間環境学)	健康科学論 スポーツ実技(健康スポーツ)
兼任	准教授	加藤 孝基 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	人間と環境 スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(アウトドアスポーツ)
兼任	准教授	中尾 陽子 <令和3年4月> 修士(心理学)※	心理学A 心理学B
兼任	准教授	藤川 美代子 <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	異文化との接触 日本との出会い
兼任	准教授	森田 貴之 <令和3年4月> 博士(文学)	文学をめぐって
兼任	准教授	野口 博史 <令和3年4月> 修士(国際関係論)※	アジアとの出会い
兼任	准教授	小阪 知弘 <令和3年4月> Doctor en filología hispánica (スペイン)	ヨーロッパとの出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	MUNSI, Roger Vanzila <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	民族問題と人間の尊厳
兼任	准教授	宮脇 千絵 <令和3年4月> 博士(文学)	民族問題と人間の尊厳
兼任	准教授	伊東 留美 <令和3年4月> Doctor of Philosophy(Expressive Therapies)(米国)	美術A 美術B 心理学A 心理学B
兼任	准教授	上峯 篤史 <令和3年4月> 博士(文化史学)	考古学A
兼任	准教授	山下 忠康 <令和3年4月> 博士(経営学)	経済学B 政治・経済の諸相
兼任	准教授	畑山 知子 <令和3年4月> 博士(人間環境学)	健康科学論 スポーツ実技(フィットネス) 知識の探求
兼任	准教授	加藤 孝基 <令和3年4月> 博士(スポーツ科学)	人間と環境 スポーツ実技(フィットネス) スポーツ実技(アウトドアスポーツ) スポーツ実技(健康スポーツ)
兼任	准教授	中尾 陽子 <令和3年4月> 修士(心理学)※	心理学A 心理学B
兼任	准教授	藤川 美代子 <令和3年4月> 博士(歴史民俗資料学)	異文化との接触 日本との出会い
兼任	准教授	森田 貴之 <令和3年4月> 博士(文学)	文学をめぐって
兼任	准教授	野口 博史 <令和3年4月> 修士(国際関係論)※	アジアとの出会い
兼任	准教授	小阪 知弘 <令和3年4月> Doctor en filología hispánica (スペイン)	ヨーロッパとの出会い

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	宮原 佳昭 <令和3年4月> 博士(文学)	歴史の諸相
兼任	准教授	浅香 幸枝 <令和3年4月> 博士(学術)	異文化の理解
兼任	准教授	前田 洋枝 <令和3年4月> 博士(心理学)	社会の諸相
兼任	准教授	小林 純子 <令和3年4月> Docteur en Sciences de l'Education (フランス)	社会の諸相
兼任	准教授	林 雅代 <令和3年4月> 修士(教育学)	人間と環境
兼任	准教授	鶴見 哲也 <令和3年4月> 博士(学術)	社会システムと環境
兼任	准教授	藤田 知加子 <令和3年4月> 博士(心理学)	こころとは
兼任	准教授	坂井 博美 <令和3年4月> 博士(文学)	文化と情報
兼任	准教授	ELLIOTT, Darren <令和3年4月> MA English Language Teaching (英国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語ライティング
兼任	准教授	ALVA, Reginald Joaquim <令和3年4月> DOCTORATUS IN SACRA THEOLOGIA(イタリア)	倫理学 宗教に見る人間の尊厳 環境と倫理問題
兼任	准教授	河合 正雄 <令和3年4月> 修士(法学)※	日本国憲法
兼任	准教授	原田 健二朗 <令和3年4月> 博士(法学)	政治学A 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	神野 真敏 <令和3年4月> 博士(経済学)	経済学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	宮原 佳昭 <令和3年4月> 博士(文学)	歴史の諸相
兼任	准教授	浅香 幸枝 <令和3年4月> 博士(学術)	異文化の理解
兼任	准教授	前田 洋枝 <令和3年4月> 博士(心理学)	社会の諸相
兼任	准教授	小林 純子 <令和3年4月> Docteur en Sciences de l'Education (フランス)	社会の諸相
兼任	准教授	林 雅代 <令和3年4月> 修士(教育学)	人間と環境
兼任	准教授	鶴見 哲也 <令和3年4月> 博士(学術)	社会システムと環境
兼任	准教授	藤田 知加子 <令和3年4月> 博士(心理学)	こころとは
兼任	准教授	坂井 博美 <令和3年4月> 博士(文学)	文化と情報
兼任	准教授	ELLIOTT, Darren <令和3年4月> MA English Language Teaching (英国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語ライティング
兼任	准教授	ALVA, Reginald Joaquim <令和3年4月> DOCTORATUS IN SACRA THEOLOGIA(イタリア)	倫理学 宗教に見る人間の尊厳 環境と倫理問題
兼任	准教授	河合 正雄 <令和3年4月> 修士(法学)※	日本国憲法
兼任	准教授	原田 健二朗 <令和3年4月> 博士(法学)	政治学A 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	神野 真敏 <令和3年4月> 博士(経済学)	経済学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	宮原 佳昭 <令和3年4月> 博士(文学)	歴史の諸相
兼任	准教授	浅香 幸枝 <令和3年4月> 博士(学術)	異文化の理解 民族問題と人間の尊厳
兼任	教授	前田 洋枝 <令和4年4月> 博士(心理学)	社会の諸相
兼任	教授	小林 純子 <令和4年4月> Docteur en Sciences de l'Education (フランス)	社会の諸相
兼任	准教授	林 雅代 <令和3年4月> 修士(教育学)	人間と環境
兼任	准教授	鶴見 哲也 <令和3年4月> 博士(学術)	社会システムと環境
兼任	准教授	藤田 知加子 <令和3年4月> 博士(心理学)	こころとは
兼任	准教授	坂井 博美 <令和3年4月> 博士(文学)	文化と情報
兼任	准教授	ELLIOTT, Darren <令和3年4月> MA English Language Teaching (英国)	英語ライティング 英語IIライティング 英語ワークショップB 英語イメージA
兼任	准教授	ALVA, Reginald Joaquim <令和3年4月> DOCTORATUS IN SACRA THEOLOGIA(イタリア)	倫理学 宗教に見る人間の尊厳 環境と倫理問題
兼任	准教授	河合 正雄 <令和3年4月> 修士(法学)※	日本国憲法
兼任	准教授	原田 健二朗 <令和3年4月> 博士(法学)	政治学A 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	准教授	神野 真敏 <令和3年4月> 博士(経済学)	経済学B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	宮原 佳昭 <令和3年4月> 博士(文学)	歴史の諸相
兼任	教授	前田 洋枝 <令和4年4月> 博士(心理学)	社会の諸相
兼任	教授	小林 純子 <令和4年4月> Docteur en Sciences de l'Education (フランス)	社会の諸相
兼任	准教授	林 雅代 <令和3年4月> 修士(教育学)	人間と環境
兼任	教授	鶴見 哲也 <令和5年4月> 博士(学術)	社会システムと環境
兼任	准教授	藤田 知加子 <令和3年4月> 博士(心理学)	こころとは
兼任	教授	坂井 博美 <令和5年4月> 博士(文学)	文化と情報
兼任	准教授	ELLIOTT, Darren <令和3年4月> MA English Language Teaching (英国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語ライティング 英語IIライティング 英語ワークショップB 英語イメージA
兼任	教授	ALVA, Reginald Joaquim <令和5年4月> DOCTORATUS IN SACRA THEOLOGIA(イタリア)	倫理学 宗教に見る人間の尊厳 環境と倫理問題 文化の比較 アジアとの出会い
兼任	准教授	河合 正雄 <令和3年4月> 修士(法学)※	日本国憲法
兼任	准教授	原田 健二朗 <令和3年4月> 博士(法学)	政治学A 思想史に学ぶ人間の尊厳
兼任	教授	神野 真敏 <令和5年4月> 博士(経済学)	経済学B

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	TIDMARSH, Andrew <令和3年4月> Master of Arts in Language Learning and Education(英国)	英語コミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ 英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語Iリスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	OTTOSON, Kevin <令和3年4月> Doctor of Education(米国)	英語イマージョンA
兼任	講師	FILER, Benjamin <令和3年4月> Master of Arts in Teaching English to Speakers of Other Languages (英国)	英語コミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 実践英語 I C 実践英語 II C
兼任	講師	LOTT, Danielle <令和3年4月> 修士(英語・英語教育)	英語Iリーディング 英語IIリーディング
兼任	講師	BROADBY, Deborah <令和3年4月> Master of Education(TESOL) (オーストラリア)	英語Iリーディング 英語IIリーディング 英語ワークショップB 英語 I プレゼンテーション 英語 II プレゼンテーション
兼任	講師	都築 千絵 <令和3年4月> Master of Arts in Linguistics(米国)	英語Iリスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	松川 雄哉 <令和3年4月> Philosophiae doctor(Ph.D.) (カナダ)	フランス語I フランス語II
兼任	講師	MANGGA, Stephanus <令和3年4月> Doctor in Humanities (インドネシア)	インドネシア語I ※ インドネシア語II ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	TIDMARSH, Andrew <令和3年4月> Master of Arts in Language Learning and Education(英国)	英語コミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 英語Iリスニング
兼任	講師	FILER, Benjamin <令和3年4月> Master of Arts in Teaching English to Speakers of Other Languages (英国)	英語コミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ 実践英語 I C 実践英語 II C
兼任	講師	金 慧昇 <令和3年4月> 博士(経済学)	経済学A ヨーロッパとの出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	TIDMARSH, Andrew <令和3年4月> Master of Arts in Language Learning and Education(英国)	英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	金 慧昇 <令和3年4月> 博士(経済学)	経済学A ヨーロッパとの出会い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	TIDMARSH, Andrew <令和3年4月> Master of Arts in Language Learning and Education(英国)	英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	LOTT, Danielle <令和3年4月> 修士(英語・英語教育)	英語コミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	金 慧昇 <令和3年4月> 博士(経済学)	経済学A ヨーロッパとの出会い

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐分 慎弥 <令和3年4月> 修士(体育学)	基礎体育A 基礎体育B
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	世界史
兼任	講師	樋口 貴子 <令和3年4月> 学士(文学)	インターンシップ研修 I インターンシップ研修 II
兼任	講師	福田 和夫 <令和3年4月> 体育学修士	スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)
兼任	講師	KINDT Duane <令和3年4月> Doctor of Philosophy (Applied Linguistics) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	HERSCHLER, Brian <令和3年4月> Master of Arts (Teaching English as a Second/Foreign Language)(Distinction) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	KOBAYASHI, Ken <令和3年4月> 修士(教育学)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	NICKSICK, Thomas <令和3年4月> Master of Arts in Linguistics (米国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	平出 優子 <令和3年4月> 修士(言語科学)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐分 慎弥 <令和3年4月> 修士(体育学)	基礎体育A 基礎体育B
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	世界史
兼任	講師	樋口 貴子 <令和3年4月> 学士(文学)	インターンシップ研修 I インターンシップ研修 II
兼任	講師	福田 和夫 <令和3年4月> 体育学修士	スポーツ実技(個人スポーツ) スポーツ実技(生涯スポーツ)
兼任	講師	KINDT Duane <令和3年4月> Doctor of Philosophy (Applied Linguistics) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	HERSCHLER, Brian <令和3年4月> Master of Arts (Teaching English as a Second/Foreign Language)(Distinction) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	KOBAYASHI, Ken <令和3年4月> 修士(教育学)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	NICKSICK, Thomas <令和3年4月> Master of Arts in Linguistics (米国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	平出 優子 <令和3年4月> 修士(言語科学)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	世界史 性と生命における人間の尊厳
兼任	講師	樋口 貴子 <令和3年4月> 学士(文学)	インターンシップ研修 I インターンシップ研修 II
兼任	講師	KINDT Duane <令和3年4月> Doctor of Philosophy (Applied Linguistics) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	HERSCHLER, Brian <令和3年4月> Master of Arts (Teaching English as a Second/Foreign Language)(Distinction) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	KOBAYASHI, Ken <令和3年4月> 修士(教育学)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	NICKSICK, Thomas <令和3年4月> Master of Arts in Linguistics (米国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	大橋 真砂子 <令和3年4月> 博士(文学)	世界史 性と生命における人間の尊厳
兼任	講師	樋口 貴子 <令和3年4月> 学士(文学)	インターンシップ研修 I インターンシップ研修 II
兼任	講師	KINDT Duane <令和3年4月> Doctor of Philosophy (Applied Linguistics) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	HERSCHLER, Brian <令和3年4月> Master of Arts (Teaching English as a Second/Foreign Language)(Distinction) (英国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	KOBAYASHI, Ken <令和3年4月> 修士(教育学)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	NICKSICK, Thomas <令和3年4月> Master of Arts in Linguistics (米国)	英語Iコミュニケーションスキルズ 英語IIコミュニケーションスキルズ 英語IIIコミュニケーションスキルズ 英語IVコミュニケーションスキルズ

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	TAYLOR, Jason <令和3年4月> Master of Music Composition(米国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	佐藤 ゆかり <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Iライティング 英語IIライティング
兼任	講師	KHONDAKER, Taslima <令和3年4月> 修士(農業)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	HAYES, Mary <令和3年4月> BA(アイルランド)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	加藤 尚子 <令和3年4月> Master of Arts English Composition Teaching English as a Second Language (米国)※	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	酒井 美納江 <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Iリーディング 英語IIリーディング
兼任	講師	VIADO Cora <令和3年4月> Master of Arts(米国)	英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	松見 誌野 <令和3年4月> 修士(公益通訳翻訳)	英語リスニング 英語IIリスニング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	TAYLOR, Jason <令和3年4月> Master of Music Composition(米国)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	佐藤 ゆかり <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Iライティング 英語IIライティング
兼任	講師	KHONDAKER, Taslima <令和3年4月> 修士(農業)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	HAYES, Mary <令和3年4月> BA(アイルランド)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	加藤 尚子 <令和3年4月> Master of Arts English Composition Teaching English as a Second Language (米国)※	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	酒井 美納江 <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	VIADO Cora <令和3年4月> Master of Arts(米国)	英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	松見 誌野 <令和3年4月> 修士(公益通訳翻訳)	英語リスニング 英語IIリスニング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 ゆかり <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Iライティング 英語IIライティング
兼任	講師	KHONDAKER, Taslima <令和3年4月> 修士(農業)	英語Iライティング 英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	HAYES, Mary <令和3年4月> BA(アイルランド)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	酒井 美納江 <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	VIADO Cora <令和3年4月> Master of Arts(米国)	英語リスニング 英語IIリスニング

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 ゆかり <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	KHONDAKER, Taslima <令和3年4月> 修士(農業)	英語Iライティング
兼任	講師	HAYES, Mary <令和3年4月> BA(アイルランド)	英語Iライティング 英語IIライティング 英語リスニング 英語IIリスニング
兼任	講師	酒井 美納江 <令和3年4月> 修士(英語教育)	英語Iリーディング 英語IIリーディング 英語Vコミュニケーションスキルズ 英語VIコミュニケーションスキルズ 英語VIIコミュニケーションスキルズ 英語VIIIコミュニケーションスキルズ
兼任	講師	VIADO Cora <令和3年4月> Master of Arts(米国)	英語リスニング 英語IIリスニング

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

＜専任教員に係る変更＞

- ・藤井 勝之准教授、昇格により職位を「教授」に変更。
- ・柴原寛明准教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（情報社会の構造）
- ・宮澤元准教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（情報社会の構造）

＜兼任教員の昇格に係る職位の変更＞

- ・昇格により、以下の兼任教員の職位を変更
「兼任准教授」→「兼任教授」
 - ・名倉 正剛
 - ・MUNSI, Roger Vanzila
- 「兼任講師」→「兼任准教授」
 - ・飯田 祥明
 - ・笹川 慶

＜兼任教授に係る変更＞

- ・坂中 正義兼任教授、休職により科目の担当から外れる。（教育・文化における人間の尊厳）担当科目は今年度未開講のため、教育上支障はない。
- ・菅原 真兼任教授、留学により科目の担当から外れる。（日本国憲法）当該科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・CROKER, Robert兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（日本との出会い）
- ・石原 美奈子兼任教授、時間割編成の都合により担当科目を追加。（文化人類学A）
- ・石崎 保明兼任教授、時間割編成の都合により担当科目を追加。（英語Iリーディング、英語IIリーディング）
- ・永井 英治兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（文化と情報）
- ・KLUGE David E. 兼任教授、時間割編成の都合により担当科目を追加。（英語I～IVコミュニケーションスキルズ）
- ・星野 昌裕兼任教授、時間割編成の都合により科目の担当を外れる。担当科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・中田 晶子兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（英語Iリーディング、英語IIリーディング）
- ・塩濱 敬之兼任教授、阿部 俊弘兼任准教授の退職に伴い後任として就任。阿部兼任准教授の担当予定科目を全て引き継ぐ。分野は適合しており、教育上支障はない。
- ・KUMAI William Naoki兼任教授、時間割編成の都合により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・町田 奈々子兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により「社会学B」の担当者として追加。
- ・都築 栄司兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により「経済学B」の担当者として追加。
- ・中路 恭平兼任教授、時間割編成の都合により「スポーツ科学演習A」の担当者として追加。
- ・BAYERLEIN, Oliver兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により「文化の比較」の担当者として追加。
- ・川島 正樹兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により「歴史の諸相」「人権をめぐって」の担当者として追加。
- ・上村 直樹兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により「歴史の諸相」の担当者として追加。
- ・蔡 大鵬兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により「政治・経済の諸相」の担当者として追加。
- ・丸山 雅章兼任教授、教育の充実のためのクラス数増により「政治・経済の諸相」の担当者として追加。

＜兼任准教授に係る変更＞

- ・横森 励士兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（情報社会の構造）
- ・佐藤啓介兼任准教授、自己都合による退職。担当科目は今年度未開講のため、教育上支障はない。
- ・MUNSI, Roger Vanzila兼任准教授、時間割編成の都合により「文化人類学A」の担当を外した。当該科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・伊東留美兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（心理学A、心理学B）
- ・加藤孝基兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加し（人間と環境）、時間割編成の都合により「スポーツ科学演習A」の担当を外した。当該科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ALVA, Reginald Joaquim兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により「倫理学」の担当者として追加。
- ・河合 正雄兼任准教授、菅原兼任准教授の留学に伴い「日本国憲法」の担当者として追加。
- ・原田 健二郎兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により「政治学A」の担当者として追加。
- ・神野 真敏兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により「経済学B」の担当者として追加。
- ・森山 花鈴兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により「生命と倫理問題」「人権をめぐって」の担当者として追加。
- ・RIESSLAND, Andreas兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増により「日本との出会い」の担当者として追加。

＜兼任講師に係る変更＞

- ・金山 知俊兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により担当科目を追加。（情報社会の構造）
- ・TAYLOR, Jamie兼任講師、時間割編成の都合により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当を外れる。当該科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。また、教育の充実のためのクラス数増により「英語Iライティング」を追加。
- ・TIDMARSH, Andrew兼任講師、時間割編成の都合により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」「英語IIリスニング」の担当を外れる。「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」は別の教員に交代し開講している。「英語IIリスニング」は担当教員数減となるがすでに当該科目を担当している教員がクラス数を増やして対応しているため、教育上支障はない。
- ・OTTOSON, Kevin兼任講師、自己都合による退職。担当科目は今年度未開講のため教育上支障はない。来年度の科目開講までに別の担当者を充てる予定。
- ・LOTT, Danielle兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当を外れる。担当科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・BROADBY, Deborah兼任講師、自己都合による退職。「英語Iリーディング」「英語IIリーディング」は別の教員が担当しており、教育上支障はない。「英語ワークショップB」「英語プレゼンテーション」「英語IIプレゼンテーション」は今年度未開講のため教育上支障はない。来年度の科目開講までに別の担当者を充てる予定。
- ・都築 千絵兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当を外れる。担当科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・松川 雄哉兼任講師、任期満了による退職。担当科目は今年度未開講のため教育上支障はない。来年度の科目開講までに別の担当者を充てる予定。
- ・金 慧昇兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「経済学A」「ヨーロッパとの出会い」の担当者として追加。
- ・齋藤 喬兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「文化の比較」「思想・文化をめぐって」の担当者として追加。
- ・佐々木 陽子兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「異文化との接触」の担当者として追加。
- ・梅垣 宏嗣兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「政治・経済の諸相」の担当者として追加。
- ・山田 貴将兼任講師、教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により「短期留学プログラム（春季）A」「短期留学プログラム（夏季）A」「短期留学プログラム（夏季）B」の担当者として追加。
- ・藤掛 千絵兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「短期留学プログラム（春季）A」の担当者として追加。
- ・ELMETAHER, Hosam兼任講師、時間割編成の都合により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」「英語IIリスニング」の担当者として追加。
- ・LEAR, Christopher Adam兼任講師、時間割編成の都合および教育の充実のためのクラス数増により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」「英語Iリーディング」「英語IIリーディング」の担当者として追加。
- ・GAGNON, Greg兼任講師、時間割編成の都合および教育の充実のためのクラス数増により「英語Iリーディング」「英語IIリーディング」「英語Iリスニング」「英語IIリスニング」の担当者として追加。
- ・FLORES, Ana Maria兼任講師、時間割編成の都合により「英語Iリスニング」「英語IIリスニング」の担当者として追加。

＜兼任講師に係る変更＞

- ・ RICH, Eric Christopher 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当を外れる。担当科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ IWASKOW, Roman 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当を外れる。担当科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ ウエストビィ 三奈 兼任講師、時間割編成の都合により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当を外れる。当該科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ KHONDAKER, Taslima 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当を外れる。担当科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ HAYES, Mary 兼任講師、時間割編成の都合により「英語IIリスニング」の担当を外れる。「英語IIリスニング」は担当教員数が減となるが、すでに当該科目を担当している別の教員がクラス数を増やして対応するため教育上支障はない。
- ・ 加藤 尚子 兼任講師退職。担当科目は配置されている他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 酒井 美納江 兼任講師、時間割編成の都合により「英語Iリーディング」「英語IIリーディング」の担当を外れる。当該科目は配置されている他の教員が担当しており、教育の充実のためクラス数を増加して開講しているため、教育上支障はない。また、教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により「英語Iライティング」「英語IIライティング」「英語Iリスニング」「英語IIリスニング」の担当を追加。

- ・ 教育の充実のためのクラス数増により、「基礎体育A」「基礎体育B」の担当者として稲嶋 修一郎兼任講師、内山 明兼任講師、伊藤 寿浩兼任講師、小林 秀一兼任講師、中川 貴光兼任講師、土屋 真人兼任講師、杉町（各務）明子兼任講師を追加。

- ・ 星 揚一郎兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「哲学A」「哲学B」の担当者として追加。
- ・ イン シセキ兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「文学A」の担当者として追加。
- ・ 池田 洋子兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「美術A」「美術B」の担当者として追加。
- ・ 関口 哲矢兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「日本史B」の担当者として追加。
- ・ 長尾 良子兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「法学A」の担当者として追加。
- ・ 大園 誠兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「政治学A」「政治学B」の担当者として追加。
- ・ CAVALLAR, Osvaldo 兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「政治学A」の担当者として追加。
- ・ 梅村 麦生兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「社会学B」の担当者として追加。
- ・ 小澤 良兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「心理学A」の担当者として追加。
- ・ 齋藤 菜月兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「心理学B」の担当者として追加。
- ・ 山田 幸代兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「文化の比較」の担当者として追加。
- ・ 教育の充実のためのクラス数増により「異文化との接触」の担当者としてチョ スルソップ兼任講師および三木 誠兼任講師を担当者として追加。

- ・ 山田 亮子兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「ヨーロッパとの出会い」の担当者として追加。
- ・ 岡田 宏太郎兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「歴史の諸相」の担当者として追加。
- ・ 教育の充実のためのクラス数増により「異文化の理解」の担当者として堀江 未央兼任講師および杉尾 浩規兼任講師を追加。

- ・ 教育の充実のためのクラス数増により「社会の諸相」の担当者として山口 佐和子兼任講師および松野 正太郎兼任講師を追加。

- ・ 丸山 めぐみ兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「環境と倫理問題」の担当者として追加。
- ・ 成瀬 翔兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「ことばとは」の担当者として追加。
- ・ 牛島 謙兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「知識の探求」の担当者として追加。
- ・ 大野 波矢登兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「人間と機械」「科学の諸相」の担当者として追加。
- ・ 久保田 進一兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「人間と機械」の担当者として追加。
- ・ 井上 寛雄兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「情報社会の構造」の担当者として追加。
- ・ BLOWER, Luke 兼任講師、時間割編成の都合により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・ LANGER Daniel 兼任講師、教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により「英語Iライティング」「英語IIライティング」の担当者として追加。
- ・ GIBBON, Benhanan 兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「英語Iライティング」の担当者として追加。
- ・ HANNAH Nicola 兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「英語Iリーディング」「英語IIリーディング」の担当者として追加。

【令和4年度】

<専任教員に係る変更>

- ・野田 聡人准教授、自己都合により2022年3月末退職。担当科目のうち今年度開講するものは兼任講師として引き続き担当するため、教育上支障はない。
- ・宮澤 元准教授、時間割編成の都合により「情報社会の構造」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・葉原 寛明准教授、時間割編成の都合により「情報社会の構造」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任教員の昇格に係る職位の変更>

- ・2022年4月1日付昇格により、以下の兼任教員の職位を変更
「兼任准教授」→「兼任教授」
 - ・小市 俊悟
 - ・前田 洋枝
 - ・小林 純子
- 「兼任講師」→「兼任准教授」
 - ・狭間 諒多朗
 - ・佐々木 陽子

<学部長の変更>

- ・2022年2月20日付で、理工学部長を佐々木克巳教授から沢田篤史兼任教授に変更。

<兼任教授の担当科目に係る変更>

- ・金 興烈兼任教授、研究休暇および時間割編成の都合により「基礎体育B」「スポーツ実技（アウトドアスポーツ）」「スポーツ実技（生涯スポーツ）」の担当を外し、「スポーツ実技（集団スポーツ）」を追加担当。
- ・谷口 佳津宏兼任教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（哲学・倫理学における人間の尊厳）
 - ・林 順子兼任教授、時間割編成の都合により「政治・経済の諸相」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
 - ・菅原 真兼任教授、当初の計画通り「日本国憲法」の担当者に戻す。
 - ・POTTER, David M. 兼任教授、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
 - ・山邊 省太兼任教授、研究休暇により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
 - ・KLUGE David E. 兼任教授、時間割編成の都合により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
 - ・中田 晶子兼任教授、時間割編成の都合により、担当科目を追加。（英語I翻訳、英語II翻訳）
 - ・中路 恭平兼任教授、時間割編成の都合により担当科目を追加。（基礎体育B、スポーツ実技（アウトドアスポーツ）、スポーツ実技（生涯スポーツ））
 - ・BAYERLEIN, Oliver 兼任教授、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
 - ・蔡 大鵬兼任教授、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任教授の退職>

- ・渡邊 学兼任教授、2022年3月末で定年退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・澤井 実兼任教授、2022年3月末で定年退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・斎藤 衛兼任教授、2022年3月末で定年退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任教授の追加>

- ・FONGARO, Enrico 兼任教授、教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により、「思想史に学ぶ人間の尊厳」「哲学B」の担当者として追加。
- ・井上 洋兼任教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「政治・経済と人間の尊厳」の担当者として追加。

＜兼任准教授の担当科目に係る変更＞

・横森 励士兼任准教授、時間割編成の都合により「情報社会の構造」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

・畑山 知子兼任准教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（フィットネス）」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

・加藤 孝基兼任准教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（フィットネス）」の担当を外し、「スポーツ実技（アウトドアスポーツ）」を追加担当。

・浅香 幸枝兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（民族問題と人間の尊厳）

・ELLIOTT, Darren兼任准教授、時間割編成の都合により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当を外し、「英語IIライティング」「英語ワークショップB」「英語イメージョンA」を追加担当。

・ALVA, Reginald Joaquim兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（宗教に見る人間の尊厳、環境と倫理問題）

・原田 健二郎兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（思想史に学ぶ人間の尊厳）

・森山 花鈴兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（性と生命における人間の尊厳）

・飯田 祥明兼任准教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（集団スポーツ）」の担当を外し、「スポーツ実技（フィットネス）」を追加担当。

・笹川 慶兼任准教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（アウトドアスポーツ）」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

＜兼任准教授の追加＞

・和泉 悠兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「哲学・倫理学における人間の尊厳」の担当者として追加。

・DEACON, Bradley兼任准教授、時間割編成の都合により、「異文化との接触」の担当者として追加。

・余合 淳兼任准教授、時間割編成の都合により、「政治・経済の諸相」の担当者として追加。

・上野 正樹兼任准教授、時間割編成の都合により、「政治・経済の諸相」の担当者として追加。

・松井 宗也兼任准教授、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「情報を読む」の担当者として追加。

<兼任講師の担当科目に係る変更>

- ・金山 知俊兼任講師、時間割編成の都合により「情報社会の構造」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・TAYLOR, Jamie兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・TIDMARSH, Andrew兼任講師、時間割編成の都合により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当を外し、「英語IIリスニング」の担当に戻す。
- ・齋藤 喬兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（宗教に見る人間の尊厳）
- ・ELMETAHER, Hosam兼任講師、時間割編成の都合により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当を外し、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」「英語IIリスニング」「実践英語IA」「実践英語IIA」を追加担当。
- ・LEAR, Christopher Adam兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（実践英語IA、実践英語IIA）
- ・GAGNON, Greg兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIリーディング」「英語I, IIリスニング」の担当を外し、「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」「英語ワークショップC」「実践英語IA」「実践英語IIA」を追加担当。
- ・FLORES, Ana Maria兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIリスニング」の担当を外し、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」「英語ワークショップD」「英語I, IIプレゼンテーション」「英語イマージョンB」を追加担当。

<兼任講師の退職>

- ・BAILDON, MARTIN兼任講師、2022年3月末退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・FILER, Benjamin兼任講師、2022年3月末退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任講師の追加>

- ・ABRAHAM, Joy Plathottathil兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「宗教に見る人間の尊厳」「哲学・倫理学における人間の尊厳」の担当者として追加。
- ・DAVANZO, Christopher兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」「実践英語IA」「実践英語IIA」の担当者として追加。
- ・PEO, Jared兼任講師、教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」「英語IIリスニング」の担当者として追加。
- ・CAPITIN-PRINCIPE, Abigail兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・OLIVERO, Regis兼任講師、時間割編成の都合により「フランス語I, II」の担当者として追加。
- ・MCMULLEN, Matthew兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「思想・文化をめぐって」の担当者として追加。
- ・林 徳仁兼任講師、時間割編成の都合により、「社会の諸相」の担当者として追加。
- ・林 慎将兼任講師、時間割編成の都合により、「ことばとは」の担当者として追加。
- ・TROY, Henry兼任講師、時間割編成の都合により「実践英語IC」「実践英語IIC」の担当者として追加。
- ・加藤 尚子兼任講師、2022年4月1日付採用により、「兼任講師」→「兼任講師」に変更。時間割編成の都合により「英語ライティング」および、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」を担当。

＜兼任講師の担当科目に係る変更＞

- ・佐分 慎弥兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・大橋 真砂子兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、担当科目を追加。（性と生命における人間の尊厳）
- ・福田 和夫兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・平出 優子兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・IWASKOW, Roman兼任講師、時間割編成の都合により、担当科目を追加。（英語I, IIリーディング）
- ・ウエストビィ 三奈兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・SIMMONDS Brent兼任講師、時間割編成の都合により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当を外す。当該科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・MOORE, Douglas兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・TAYLOR, Jason兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・KHONDAKER, Taslima兼任講師、当初の計画である「英語Iライティング」および、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」を追加担当。
- ・酒井 美納江兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIライティング」「英語I, IIリスニング」の担当を外し、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」を追加担当。
- ・松見 詩野兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・前田 明美兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・キム ソヨン兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・白 明学兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・中島 健太兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・伊藤 実里兼任講師、時間割編成の都合により、担当科目を追加。（英語I, IIライティング）
- ・小林 秀一兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・CAVALLAR, Osvaldo兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・チョ スルソップ兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・LANGER Daniel兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・GIBBON, Benhanan兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・HANNAH Nicola兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任講師の追加>

- ・塩澤 華奈兼任講師、時間割編成の都合により、「基礎体育A」「基礎体育B」の担当者として追加。
- ・伊藤 真博兼任講師、時間割編成の都合により、「基礎体育A」「基礎体育B」「スポーツ実技(個人スポーツ)」「スポーツ実技(フィットネス)」の担当者として追加。
- ・長澤 壮平兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「宗教に見る人間の尊厳」の担当者として追加。
- ・浅野 幸治兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「宗教に見る人間の尊厳」の担当者として追加。
- ・浦 英雄兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「思想史に学ぶ人間の尊厳」の担当者として追加。
- ・山口 宏兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「思想史に学ぶ人間の尊厳」の担当者として追加。
- ・三谷 竜彦兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「性と生命における人間の尊厳」の担当者として追加。
- ・橋爪 真理兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・内川 元兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・BRADFORD, Chris兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・ALEXANDER, Lee Harvey兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・石田 理可兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・古泉 隆兼任講師、教育の充実のためのクラス数増に伴い、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・PALISADA Eloisa兼任講師、時間割編成の都合により、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」「英語I, IIリーディング」の担当者として追加。
- ・JONES William M. 兼任講師、時間割編成の都合により、「英語Iライティング」の担当者として追加。
- ・PENDELL, Patrice兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIリスニング」の担当者として追加。
- ・千葉 裕太兼任講師、時間割編成の都合により「スペイン語I, II」の担当者として追加。
- ・李 芝賢兼任講師、時間割編成の都合により「韓国朝鮮語I, II」の担当者として追加。
- ・神内 陽子兼任講師、時間割編成の都合により「インドネシア語I, II」の担当者として追加。
- ・海川 能理子兼任講師、時間割編成の都合により、「政治学A」の担当者として追加。

<2022年5月1日以降の変更>

- ・2022年3月末に退職した野田 聡人准教授の後任として、2022年9月に藤原 正浩講師を任用。野田准教授が担当予定だった「電子工学基礎」「電子情報工学演習I～VIII」「卒業研究I～IV」「電子通信工学」を担当。

【令和5年度】

<学部長の変更>

2023年4月1日付で、理工学部長を沢田 篤史兼任教授から大石 泰章兼任教授に変更。

<専任教員の担当科目に係る変更>

・2022年9月に任用された藤原 正浩講師について、前任の野田 聡人准教授が担当していた「理工学基礎演習」「理工学概論（電子情報工学）」を追加担当。

<兼任教員の学位取得>

以下の教員について、新たに学位を取得。

- ・伊東 留美兼任教授「Doctor of Philosophy (Expressive Therapies) (米国)」
- ・ELMETAHER, Hosam兼任講師「博士（芸術）」

<兼任教員の昇格による職位変更>

「兼任准教授」→「兼任教授」

- ・鶴見 哲也
- ・坂井 博美
- ・ALVA, Reginald Joaquim
- ・服部 寛
- ・西村 邦行
- ・神野 正敏

「兼任講師」→「兼任准教授」

- ・BOSAKAIBO, B. Georges
- ・MCMULLEN, Matthew

<兼任教授の担当科目に係る変更>

- ・金 興烈兼任教授、海外留学により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・豊島 明子兼任教授、国内留学により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・CROKER, Robert兼任教授、時間割編成の都合により「思想・文化をめぐって」「日本との出会い」の担当を外し、「異文化との接触」を追加担当。
- ・石崎 保明兼任教授、海外留学により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・永井 英治兼任教授、時間割編成の都合により「文化と情報」の担当を外す。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・HOWREY, John兼任教授、時間割編成の都合により「英語I, IIライティング」を追加担当。
- ・中屋 宏隆兼任教授、研究休暇により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・中田 晶子兼任教授、時間割編成の都合により「英語I, II翻訳」の担当を外す。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・中路 恭平兼任教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（生涯スポーツ）」の担当を外し、「基礎体育A」「スポーツ実技（集団スポーツ）」を追加担当。
- ・蔡 大鵬兼任教授、教育充実のためのクラス数増に伴い「政治・経済の諸相」の担当に戻す。
- ・ALVA, Reginald Joaquim兼任教授、時間割編成の都合および教育の充実のためのクラス数増により「文化の比較」「アジアとの出会い」を追加担当。
- ・塩濱 敬之兼任教授、再履修生向けにクラスを増設したことにより「微積分学III」を追加担当。

<兼任教授の退職>

- ・KLUGE David E. 兼任教授、2023年3月末で定年退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・丹羽 牧代兼任教授、2023年3月末で自己都合により退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・井上 洋兼任教授、2023年3月末で定年退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任教授の追加>

- ・野口 晃弘兼任教授、教育充実のためのクラス数増により「政治・経済の諸相」の担当者として追加。

<兼任准教授の担当科目に係る変更>

- ・張 漢明兼任准教授、再履修生向けにクラスを増設したことにより「理工学基礎演習」を追加担当。
- ・畑山 知子兼任准教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（健康スポーツ）」の担当を外し、「スポーツ実技（フィットネス）」の担当に戻す。また、「知識の探求」を追加担当。
- ・加藤 孝基兼任准教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（個人スポーツ）」の担当を外し、「スポーツ実技（フィットネス）」の担当に戻す。また、「スポーツ実技（健康スポーツ）」を追加担当。
- ・ELLIOTT, Darren兼任准教授、時間割編成の都合により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当に戻す。
- ・森山 花鈴兼任准教授、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・余合 淳兼任准教授、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・飯田 祥明兼任准教授、時間割編成の都合により「基礎体育A, B」「スポーツ実技（フィットネス）」の担当を外し、「スポーツ実技（集団スポーツ）」の担当に戻す。
- ・笹川 慶兼任准教授、時間割編成の都合により「スポーツ実技（集団スポーツ）」の担当を外し、「スポーツ実技（個人スポーツ）」を追加担当。
- ・青木 剛兼任准教授、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・MCMULLEN, Matthew兼任准教授、時間割編成の都合により「宗教に見る人間の尊厳」「異文化の理解」を追加担当。

<兼任准教授の退職>

- ・浅香 幸枝兼任准教授、2023年度3月末で定年退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任講師の担当科目に係る変更>

- ・LOTT, Danielle兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」を追加担当。
- ・CAPITIN-PRINCIPE, Abigail兼任講師、時間割編成の都合により「英語ワークショップA」を追加担当。
- ・加藤 尚子兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIリーディング」を追加担当。

<兼任講師の退職>

- ・齋藤 喬兼任講師、2023年3月末で任期満了により退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・山田 貴将兼任講師、2023年3月末で自己都合により退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・藤掛 千絵兼任講師、2023年3月末で任期満了により退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・LEAR, Christopher Adam兼任講師、2023年3月末で自己都合により退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ABRAHAM, Joy Plathottathil兼任講師、2023年3月末で自己都合により退職。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任講師の追加>

- ・伊藤 奨兼任講師、時間割編成の都合により「基礎体育A, B」「スポーツ実技（個人スポーツ）」の担当者として追加。
- ・額田 有美兼任講師、時間割編成の都合により「民族問題と人間の尊厳」の担当者として追加。
- ・ZONI UPTON, Jessica兼任講師、教育の充実のためのクラス数増および時間割編成の都合により「英語I～VIIIコミュニケーションスキルズ」「英語I, IIリーディング」の担当者として追加。
- ・MILLER, Adam Lee兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIリーディング」の担当者として追加。
- ・MAYORAL MUNOZ, Miguel兼任講師、時間割編成の都合により「スペイン語I, II」の担当者として追加。
- ・小野 詩紀子兼任講師、時間割編成の都合により「短期留学プログラム（夏季）A」の担当者として追加。

<兼任講師の担当科目に係る変更>

- ・ RICH, Eric Christopher 兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」を追加担当。
- ・ IWASKOW, Roman 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ MOORE, Douglas 兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当に戻す。
- ・ 佐藤 ゆかり 兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIライティング」の担当を外し、「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」を追加担当。
- ・ KHONDAKER, Taslima 兼任講師、時間割編成の都合により「英語V～VIIIコミュニケーションスキルズ」の担当を外す。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 酒井 美納江 兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIリーディング」の担当に戻す。
- ・ VILLALOBOS Antelma 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 中島 健太 兼任講師、時間割編成の都合により「インドネシア語I, II」の担当に戻す。
- ・ 伊藤 実里 兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIライティング」の担当を外し、「実践英語IA, IIA」を追加担当。
- ・ 伊藤 寿浩 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ イン シセキ 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 池田 洋子 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 梅村 麦生 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 堀江 未央 兼任講師、令和5年度より通名使用により氏名欄の変更。
- ・ 丸山 めぐみ 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 牛島 謙 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 野田 聡人 兼任講師、後任の藤原 正浩 兼任講師が担当科目を引き継ぐことになったため、科目の担当を外れる。
- ・ 塩澤 華奈 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 伊藤 真博 兼任講師、時間割編成の都合により「スポーツ実技（個人スポーツ）」「スポーツ実技（フィットネス）」の担当を外し、「スポーツ実技（生涯スポーツ）」を追加担当。
- ・ BRADFORD, Chris 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 古泉 隆 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 千葉 裕太 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。
- ・ 神内 陽子 兼任講師、時間割編成の都合により科目の担当から外れる。担当科目は他の教員が担当しており、教育上支障はない。

<兼任講師の追加>

- ・ 都築 千絵 兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIリスニング」の担当者として追加。
- ・ 浅香 幸枝 兼任講師、時間割編成の都合により「スペイン語I, II」の担当者として追加。
- ・ 中田 有紀 兼任講師、時間割編成の都合により「基礎体育A, B」の担当者として追加。
- ・ 村田 祐樹 兼任講師、時間割編成の都合により「基礎体育B」の担当者として追加。
- ・ BONDOC, Jeffree 兼任講師、教育の充実のためのクラス数増により「英語I～IVコミュニケーションスキルズ」の担当者として追加。
- ・ ADRIANOWICZ, Zbigniew 兼任講師、時間割編成の都合により「英語I, IIライティング」の担当者として追加。
- ・ 市川 遥 兼任講師、時間割編成の都合により「文学A」の担当者として追加。
- ・ 井上 瞳 兼任講師、時間割編成の都合により「美術A, B」の担当者として追加。

- (注) ・ 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	8
	4
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	4	0	0	9	0	6	2	1	0	9	0
(5)	(4)	(0)	(0)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	2	1	0	9	0	6	2	1	0	9	0
[1]	[Δ2]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{9} = \boxed{22.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 **【該当なし】**

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	野田 聡人	R4.3	必修	理工学基礎演習	①	本人から他大学へ移籍するために退職したいとの申し出があり、大学としては慰留説得に務めたが、令和4年3月31日付で退職した。野田准教授が担当していた科目のうち、令和4年度配当科目については、引き続き非常勤講師として野田准教授が担当している。(4) 令和4年9月1日に分野および科目の内容にふさわしい専任教員として藤原正浩講師を任用し、それ以降藤原講師が野田准教授が担当していた科目を担当している。(5)						
				必修	理工学概論 (電子情報工学)	①							
				必修	電子工学基礎	①							
				必修	電子情報工学実習	①							
				必修	電子情報工学演習I	①							
				必修	電子情報工学演習III	①							
				必修	電子情報工学演習IV	①							
				必修	電子情報工学演習V	①							
				必修	電子情報工学演習VI	①							
				必修	電子情報工学演習VII	①							
				必修	電子情報工学演習VIII	①							
				必修	卒業研究I	①							
				必修	卒業研究II	①							
				必修	卒業研究III	①							
				必修	卒業研究IV	①							
選択	電子通信工学	①											
選択	電子情報工学演習II	①											
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	15	科目	必修	15	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担当教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年1月下旬に野田聡人准教授から退職の願い出があり、大学としては慰留説得に努めたが、退職に至った。現在、野田准教授の担当科目に適合する専門性と業績を有する専任教員の人事を、令和4年9月の着任を目指して進めている。今年度開講する野田准教授担当科目は、「理工学概論 (電子情報工学)」「理工学基礎演習」「電子工学基礎」「電子情報工学実習」の4科目があるが、いずれも野田准教授自身が非常勤講師として担当予定である。そのため、授業担当者の変更はなく、学生への周知に関して支障はなかった。(4)

令和4年9月に野田准教授の担当科目に適合する専門性と業績を有する藤原正浩講師を専任教員として任用し、野田准教授の担当科目を担当させることにした。その結果、令和4年度では「電子工学基礎」と「電子情報工学実習」を藤原講師が担当することになったが、これらの科目のシラバス等の変更については、学生が授業の履修登録をする以前にシラバス検索システムを通して余裕をもって周知することができたので支障はなかった。(5)

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>届出時 (令和2年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運営に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>【届出】 遵守事項</p> <p>電子情報工学科の教育研究を継続的なものとし、教育課程を開設時と同等に維持するための教員組織編成に関する履行状況は以下のとおりである。 2名の専任教員が完成年度までに、65歳に達するが、68歳または完成年度までの任用を認める学内手続きが完了している。 また、40歳代1名の准教授は教授に昇格している。 完成年度後の補充人事については、2025年度に若手教員（30歳代准教授）を任用する方向性に基づき、候補者の専門領域や担当科目についての検討を行っている。 開設時50歳代准教授の教授への昇格人事については、業績のさらなる積み上げにより昇格を着実にするために、学部および学科として研究活動の活性化に取り組んでいる。（3）</p> <p>電子情報工学科の教育研究を継続的なものとし、教育課程を開設時と同等に維持するための教員組織編成に関する履行状況は以下のとおりである。 2名の専任教員が完成年度までに、65歳に達するが、68歳または完成年度までの任用を認める学内手続きが完了している。 また、40歳代1名の准教授は2021年4月1日付けで教授に昇格している。 完成年度後の補充人事については、2025年度に若手教員（30歳代准教授）を任用する方向性に基づき、候補者の専門領域や担当科目についての検討を行っている。 開設時50歳代准教授の教授への昇格人事については、業績のさらなる積み上げにより昇格を着実にするために、学部および学科として研究活動の活性化に取り組んでいる。（4）</p> <p>電子情報工学科の教育研究を継続的なものとし、教育課程を開設時と同等に維持するための教員組織編成に関する履行状況は以下のとおりである。 2名の専任教員が完成年度までに、65歳に達するが、68歳または完成年度までの任用を認める学内手続きが完了している。 また、40歳代1名の准教授は2021年4月1日付けで教授に昇格している。 完成年度後の補充人事については、2025年度に若手教員（30歳代准教授）を任用する方向性に基づき、候補者の専門領域や担当科目について検討を継続している。 開設時50歳代准教授の教授への昇格人事については、業績のさらなる積み上げにより昇格を着実にするために、学部および学科として面談や研究会の実施など、研究活動の活性化に取り組んでいる。（5）</p>	<p>履行中</p> <p>電子情報工学科の教育研究を継続的なものとし、教育課程を開設時と同等に維持するための教員組織編成に関する今後の実施計画は以下のとおりである。 完成年度までに65歳に達する2名の教員は完成年度末に退職の予定である。 完成年度後においても年齢、職位、専門性の構成を開設時と同等に維持するために、2025年度に若手教員（30歳代准教授）の補充人事を計画している。 今後は、専門領域や担当科目の検討結果に基づき、具体的な候補者のリストアップと絞り込みを行う予定である。 開設時50歳代の准教授については教授への昇格を計画している。 今後は、昇格を着実にするための研究活動の活性化に、学部・学科として継続的に取り組む予定である。（3）</p> <p>電子情報工学科の教育研究を継続的なものとし、教育課程を開設時と同等に維持するための教員組織編成に関する今後の実施計画は以下のとおりである。 完成年度までに65歳に達する2名の教員は完成年度末に退職の予定である。 完成年度後においても年齢、職位、専門性の構成を開設時と同等に維持するために、2025年度に若手教員（30歳代准教授）の補充人事を計画している。 今後は、専門領域や担当科目の検討結果に基づき、具体的な候補者のリストアップと絞り込みを行う。 開設時50歳代の准教授については教授への昇格を計画している。 今後は、昇格を着実にするための研究活動の活性化に、学部・学科として継続的に取り組む予定である。（4）</p> <p>電子情報工学科の教育研究を継続的なものとし、教育課程を開設時と同等に維持するための教員組織編成に関する今後の実施計画は以下のとおりである。 完成年度までに65歳に達する2名の教員は完成年度末に退職の予定である。 完成年度後においても年齢、職位、専門性の構成を開設時と同等に維持するために、2025年度に若手教員（30歳代准教授）の補充人事を計画している。 今後は、専門領域や担当科目の検討結果に基づき情報収集を行い、具体的な候補者のリストアップと絞り込みを開始する。 開設時50歳代の准教授については教授への昇格を計画している。 今後は、昇格を着実にするため研究活動の活性化を目指して、学部・学科として面談や研究会の実施など、継続的に取り組む予定である。（5）</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 電子情報工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた特例的な対応	<p>①学年暦の変更はない</p> <p>②オンライン授業への対応 原則として対面授業であるが、教員、学生ともに本人に重症化リスクがある場合、対面授業の免除を申請でき、オンラインでの授業の実施、受講が可能となる。ただし感染状況が悪化しなければ、この対面授業免除申請の制度は第1クォータをもって終了の予定である。</p> <p>③オンラインを利用した授業についての学生への周知 オンラインを利用した授業については、その具体的な方法について履修ガイダンス、大学Webページで遅延なく全学生に周知している。</p> <p>④ 学内のサポート体制 オンライン授業に関する情報をまとめたwebページおよび問い合わせ窓口を設け、教員や学生からの問い合わせに丁寧に対応できるようサポート体制を整えている。</p> <p>⑤オンラインを利用した授業における教育効果の担保 オンライン授業では、Zoomを使用することにより、質疑応答を交えた同時双方向型授業を実施することができている。また、各種オンライン・ツールを使用することで、資料配付・レポート回収等を行うことも可能となっている。以上のような対応をすることにより、対面授業に相当する教育効果が担保できており、オンライン授業であっても各科目のシラバスに掲げている到達目標は達成できている。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学全体として、FD委員会およびSD委員会（平成29年10月設置）を設置している。 （別添資料：『南山大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程』『南山大学スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会規程』） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学全体で設置したFD委員会については、各学部から選出された委員および学長に指名された委員により、年6回開催している（令和3年度および令和4年度は4月、6月、9月、11月、1月、2月に開催）。 （教職員参加状況：教員9名、事務職員1名） 令和5年度も年6回（4月、6月、9月、12月、1月、2月）開催を予定している。 （教職員参加状況：教員9名、事務職員1名） ・ SD委員会については、学長指名の教員およびFD委員会委員長のほか数名の事務職員が委員となり、令和4年度は3月に委員会を開催した。令和5年度については年2回開催を予定している。 教職員の参加状況（教員3名、職員2名） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学全体のFD委員会では、学生による授業評価のあり方や、FDの方策等 ・ SD委員会ではSD企画への共催等
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD活動に関するWebページの公開
- ・FD関連図書の購入等
- ・全学FD講演会の開催
- ・実践的FDプログラム（JPFF） オンデマンド講義の受講案内
- ・授業改善のための研修参加補助
- ・報告会、研修会への共催
- ・学部FD・自己点検報告会
- ・学部FD講演会
- ・学部における教育活動の評価
- ・「学生による授業評価」の実施結果の分析
- ・教員相互の授業参観の促進

b 実施方法

FDについて

- ・FD活動に関するWebページ：大学全体として実施し、各学部および研究科の取り組みの紹介
- ・FD関連図書：FDに関連する図書の大学図書館および教育企画・研究推進課での配架
- ・全学FD講演会等：全学FD企画、SD企画の実施
- ・実践的FDプログラム（JPFF）：オンデマンド講義による研修プログラムの提供
- ・教員の授業改善のための研修参加費用（参加費、交通費等）の補助

SDIについて

- ・報告会、研修会：オンラインまたは対面（会場参加）・オンライン併用にて実施

学部独自のFDについて

- ・学部FD・自己点検報告会：学部教員全員を対象として、学部の授業における取り組みを報告する
- ・学部FD講演会：学部に外部講師を招いて、講演会を開催する
- ・学部における教育活動の評価：優れた授業の担当教員を表彰する
- ・「学生による授業評価」の実施結果の分析：理工学部独自のアンケートの回答について分析を行う
- ・教員相互の授業参観の促進：教員相互で授業参観を促進する方法について検討する

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FDに関する開催状況について

- ・FD活動に関するWebページ：情報を適宜更新している
- ・FD関連図書：新規購入図書を追加している
- ・全学FD講演会：令和5年3月3日に全学FD企画（講演会）を実施し、59名の教員が参加した。
- ・実践的FDプログラム（JPFF）：令和4年度は教員4名が受講登録を行った。
- ・研修参加補助：令和4年度は教員3名に対して授業改善のための研修参加費用の補助をした。

SDに関する開催状況について（いずれも共催）

- ・実践的FDプログラム オンデマンド講義（5月利用開始・翌年3月末終了）
前期8名、後期2名の教職員から申し込みがあり参加。教員が自らの授業を専門分野と教育学の観点から省察することが出来る知識、技能、態度、特にアクティブ・ラーニングを実践する能力を修得する研修プログラムで、FD に関する分野だけでなく、SD に関する分野もあり、受講を希望するコンテンツを選択して受講した。
- ・教育職員・事務職員のための学生就活講座（令和4年6月20日開催）
52名の教職員が参加。（会場参加7名、オンライン参加45名）
株式会社マイナビより、2023年春卒学生の就職活動についてご講演いただき、その後トークセッションが行われた。
- ・2022年度事務職員等研修『アサーティブコミュニケーション研修』（教育職員参加）
5名の教員が会場にて参加。
事務職員等研修にて、アサーティブなコミュニケーションの取り方について事務職員と共に研修を受けた。
- ・入試報告会について（報告）（令和4年6月22日開催）
137名の教職員が参加。（会場参加16名、オンライン参加121名）
株式会社進研アドおよび学力評価研究機構（クレア）より「2025年度新課程入試への対応に関するセミナー」について、ご報告いただいた。また、株式会社KEIアドバンス（河合塾グループ）より、「2022年度入試結果分析と2023年度入試に関する予測についてご報告いただいた。
- ・大学広報に関するFD/SD研修会（令和4年7月7日開催）
30名の教職員が参加。（会場参加）
中京テレビ放送株式会社より、「大学とメディアの付き合い方 ～効果的な大学広報のあり方～」をテーマにレクチャーとグループワークを通し理解を深めた。
- ・入試報告会について（報告）（令和4年11月2日開催）
126名の教職員が参加。（オンライン参加）
株式会社進研アドより「2022年度入試結果をふまえて今後の入試に向けて」について、また株式会社KEIアドバンス（河合塾グループ）より「第2回全統共通テスト模試から見る2023年入試予測」についてご報告いただいた。

学部独自のFDに関する開催状況について

・FD自己点検報告会は2022年度は不開催とした。理由は、第2回のFD講演会において、上智大学の授業評価と本学の授業評価との比較を議論したためである。

・FD講演会を2回行った。いずれもZoomによるオンライン開催である。

第1回は、2022年6月8日の開催で、参加者は34名であった。昨年度に引き続いて（株）リクルートから講師を招き、理工学部を受験の状況を確認するとともに、前年度の広報戦略の振り返りを行った。理工学部を広報すべき対象やどのような点を説明するべきか、そのために教員は何をするべきかなどが明確になり、学部としての意思統一が行えた。

第2回は、2022年12月21日の開催で、参加者は28名であった。上智大学教学担当副学長の伊呂原隆教授をお招きし、同大学で全学的に行った授業評価についての講演をいただいた。

・教育業績の表彰は、「理工学基礎演習」の授業をオンラインで行うために実験動画を作成したことを評価して、藤井勝之教授を対象にした。

・全学「学生による授業評価」（Q1～Q4）については、第2回FD講演会で上智大学の授業評価との比較を議論したことで、いくつかの示唆を得た。たとえば上智大学は回答率を上げるために学内の目立つ場所にポスター掲示を行い、授業評価への関心を高めたとのことである。また、評価結果に関する分析は統計学の専門家が行なっているそうである。

・相互授業参観促進方法について、参加者間で問題の洗い出しを行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有。令和4年度は、各クォーター末に実施した（年4回）。

b 教員や学生への公開状況、方法等

第1クォーター・第2クォーターの科目は当該年度12月までに、第3クォーター・第4クォーターの科目は翌年度6月までに教育企画・研究推進課のWebページで授業評価結果等を公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

電子情報工学科では、理学（数学、物理学、情報科学）の基礎の上に、主専門領域である電子通信機器や情報ネットワークの設計、管理、運用のための技術と方法論を修め、安全で利便性の高い電子通信機器や情報ネットワークの開発を实践することのできる人材を育成する、という特色を実現するために、編成したカリキュラムならびにシラバスに従って授業を実施してきた。

入学者選抜については、全ての種別の選抜試験を計画通り実施し、ほぼ定員どおりの入学者を得ている（令和5年度入学者は62名：令和5年5月1日現在）。学部の管理運営については、大学学則に基づき設置された理工学部教授会により計画通り行われている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和5年5月公表予定

b 公表方法

・ 大学Webページ上に公表予定

③ 認証評価を受ける計画

南山大学は、令和2年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受審済み。

今後は令和9年度に受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

南山大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学の建学の理念に基づき、教育活動の質的向上と発展を期して、ファカルティ・ディベロップメント活動の運営および今後のあるべき方向を検討するため、南山大学内部質保証委員会のもとに南山大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会 (以下「委員会」という。) を置く。

(審議事項等)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、FD を推進するための活動を行う。

- 1 FD 推進のための企画および実施に関すること。
- 2 FD に関する報告作成に関すること。
- 3 その他 FD の推進に関すること。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 1 学部選出の教育職員 各学部 1名
 - 2 学長の指名する教育職員および事務職員 若干名
- ② 事務局を教育企画・研究推進課に置き、委員会事務を担当する。

(委員長等)

第4条 委員長は、前条に定める委員の中から大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

- ② 委員会は、委員長が招集する。
- ③ 委員会に議長を置き、委員長がこれに当たる。
- ④ 委員長に事故あるときは、委員の互選により委員長を代行する者を選出する。
- ⑤ 委員会は、構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。
- ⑥ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(任 期)

第5条 委員長および委員の任期は、2年とする。ただし、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- ② 委員長および委員は、再任を妨げない。

(規程の改正)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2005年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2011年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2017年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。

南山大学スタッフ・ディベロップメント (SD) 委員会規程

(目的)

第1条 南山大学の建学の理念に基づく教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、南山大学職員規則第3条に定める職員に対する「大学等の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるための研修(スタッフ・ディベロップメント。以下「SD」という。)」を行うにあたり、その計画立案および実施等のため、南山大学スタッフ・ディベロップメント (SD) 委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(審議事項等)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議する。

- 1 SDの企画および実施に関すること
- 2 SDに関する報告作成に関すること
- 3 南山学園事務職員等研修との連携・調整に関すること
- 4 ファカルティ・ディベロップメント活動との連携・調整に関すること
- 5 その他SDの推進に関すること

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 1 副学長(総務担当)
- 2 総務・人事部長
- 3 ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長
- 4 学長が指名する教育職員および事務職員 若干名

② 事務局を人事課に置き、委員会事務を担当する。

(委員長等)

第4条 委員長は、副学長(総務担当)とする。

- ② 委員会は、委員長が招集する。
- ③ 委員会に議長を置き、委員長がこれに当たる。
- ④ 委員長に事故あるときは、委員の互選により委員長を代行する者を選出する。
- ⑤ 委員会は、構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。
- ⑥ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(任期)

第5条 委員長および委員の任期は、2年とする。ただし、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- ② 委員長および委員は、再任を妨げない。

(規程の改正)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

第2部 スタッフ・ディベロップメント (SD) 委員会規程

この規程は、2017年10月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2021年4月1日から施行する。